

令和3年度（2021年度）

入学者選拔要項

YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University

不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供

自然災害や疫病・感染症の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、以下のウェブサイトにてお知らせします。

なお、これらの不測の事態が生じた場合は、試験日程や選抜方法を変更したうえで、入学者の選抜を行うことがあります。

・横浜国立大学 ウェブサイト <https://www.ynu.ac.jp/>

令和3年度（2021年度）の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、上記に準じて試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。

そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、上記ウェブサイトにてお知らせします。

最新の情報は、各入試の学生募集要項および大学ウェブサイトにて必ず確認をしてください。

目 次

□ 新型コロナウイルス感染症対策に伴う選抜方法等の変更について	1
□ 教育学部、経済学部および経営学部の組織改編について	7
I 横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	10
II 入学者の募集人員	14
III 一般選抜	
1. 入学者選抜の実施方法	15
2. 出願資格	15
3. 一般選抜実施日程	16
4. 併願	16
5. 出願に関する各学部別の留意事項	17
6. 2段階選抜	18
7. 試験科目設定の意図	19
8. 一般選抜の実施教科・科目	
(1) 教育学部	21
(2) 経済学部	23
(3) 経営学部	24
(4) 理工学部	25
(5) 都市科学部	28
9. 教育学部の実技検査	33
10. 欠員の補充等	35
11. 一般選抜に係る入試情報開示	35
12. 個別の入学資格審査により出願する場合の手続について	36
IV 特別選抜	
1. 総合型選抜	
(1) 教育学部	37
(2) 経済学部	40
(3) 経営学部	44
(4) 理工学部	46
(5) 都市科学部	50
2. 学校推薦型選抜	
(1) 教育学部	57
(2) 経営学部	59
(3) 理工学部	60
3. 帰国生徒選抜、外国学校出身者選抜	
(1) 教育学部 帰国生徒選抜	61
(2) 経済学部 外国学校出身者選抜	63
(3) 経営学部 帰国生徒選抜	65
(4) 都市科学部 帰国生徒選抜	66
4. 社会人選抜	
経営学部	70
5. 特別選抜における小論文及び面接の内容	71
V 私費外国人留学生等の入学者選抜	
1. YGEP-N1（渡日入試）	72
2. YGEP-N1（渡日前入試）	
(1) 理工学部	75
(2) 都市科学部	76
3. YGEP-N2（渡日前入試）	79
4. YCCS特別プログラム入試（令和3年（2021年）10月入学）	81
VI 学生募集要項（願書）の配布および問い合わせ先	82
VII 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談	84
VIII 過去の入試データ	85
□ キャンパス案内図	86
□ 交通案内図	87

□ 新型コロナウイルス感染症対策に伴う選抜方法等の変更について

令和3年度（2021年度）の入学選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を今後さらに変更する可能性があります。

そのため、この入学選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト（<https://www.ynu.ac.jp/>）にてお知らせします。

最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトです必ず確認をしてください。

1. 一般選抜

入学者の選抜は、令和元年（2019年）12月26日に公表した「令和3年度（2021年度）横浜国立大学入学選抜の変更について」の内容に沿って、大学入学共通テストの成績と本学が行う個別学力検査・実技検査・面接・調査書・自己推薦書を総合して行う予定としていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見通せない中、入学志願者の安全と受験機会の確保を最優先するため、選抜方法を次の通り変更します。

選抜方法や配点等の詳細については、本要項の21ページ以降を参照してください。

○教育学部

変更前	変更後
<p>前期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理歴史・公民から1科目の場合 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕 ・地理歴史・公民から2科目の場合 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕 又は〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕 <p>②個別学力検査等</p> <p>【学校教員養成課程 言語・文化・社会系教育コース、自然・生活系教育コース、芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）】</p> <p><u>集団面接試験（調査書および自己推薦書の評価を含む）と小論文（教育課題論文）</u></p> <p>【学校教員養成課程 芸術・身体・発達支援系教育コース（音楽・美術・保健体育専門領域）】</p> <p><u>集団面接試験（調査書および自己推薦書の評価を含む）と、選択した専門領域の実技検査「音楽の実技」、「美術の実技」、「体育の実技」</u></p>	<p>前期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理歴史・公民から1科目の場合 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕 ・地理歴史・公民から2科目の場合 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕 又は〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕 <p>②個別学力検査等</p> <p>【学校教員養成課程 言語・文化・社会系教育コース、自然・生活系教育コース、芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）】</p> <p><u>面接試験（調査書および自己推薦書の評価を含む）と小論文（教育課題論文）試験に相当する内容の動画やレポート等の提出物（以降、それぞれ面接試験、小論文試験という。）により合格者を決定します。</u></p> <p><u>追試験は実施しません。</u></p> <p>【学校教員養成課程 芸術・身体・発達支援系教育コース（音楽・美術・保健体育専門領域）】</p> <p><u>面接試験（調査書および自己推薦書の評価を含む）と、選択した専門領域の実技検査「音楽の実技」、「美術の実技」、「体育の実技」に相当する内容の写真や動画等の提出物（以降、それぞれ面接試験、実技検査という。）により合格者を決定します。</u></p> <p><u>追試験は実施しません。</u></p>

○経済学部

変更前	変更後
<p>前期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [5 教科 7 科目] 又は [5 教科 8 科目] 又は [6 教科 7 科目] 又は [6 教科 8 科目] </div> <p>②個別学力検査等</p> <p>数学、外国語</p>	<p>前期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [5 教科 7 科目] 又は [5 教科 8 科目] 又は [6 教科 7 科目] 又は [6 教科 8 科目] </div> <p><u>大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。</u> <u>個別学力検査前期日程の数学と外国語の成績は、大学入学共通テストの数学と外国語の成績で代替します。</u></p> <p>②個別学力検査等</p> <p><u>実施しません。そのため、追試験も実施しません。</u></p>
<p>後期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [5 教科 6 科目] 又は [5 教科 7 科目] </div> <p>②個別学力検査等</p> <p>数学又は外国語</p>	<p>後期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [5 教科 6 科目] 又は [5 教科 7 科目] </div> <p><u>大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。</u> <u>個別学力検査後期日程の数学又は外国語の成績は、大学入学共通テストの数学又は外国語の成績で代替します。</u></p> <p>②個別学力検査等</p> <p><u>実施しません。そのため、追試験も実施しません。</u></p>

○経営学部

変更前	変更後
<p>前期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [5 教科 6 科目] 又は [5 教科 7 科目] </div> <p>②個別学力検査等</p> <p>数学又は外国語</p>	<p>前期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [5 教科 6 科目] 又は [5 教科 7 科目] </div> <p><u>大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。</u> <u>個別学力検査前期日程の数学又は外国語の成績は、大学入学共通テストの数学又は外国語の成績で代替します。</u></p> <p>②個別学力検査等</p> <p><u>実施しません。そのため、追試験も実施しません。</u></p>
<p>後期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [5 教科 6 科目] 又は [5 教科 7 科目] </div> <p>②個別学力検査等</p> <p>数学、外国語</p>	<p>後期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [5 教科 6 科目] 又は [5 教科 7 科目] </div> <p><u>大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。</u> <u>個別学力検査後期日程の数学と外国語の成績は、大学入学共通テストの数学と外国語の成績で代替します。</u></p> <p>②個別学力検査等</p> <p><u>実施しません。そのため、追試験も実施しません。</u></p>

○理工学部

変更前	変更後
<p>前期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <p>[5教科7科目]</p> <p>②個別学力検査等</p> <p>数学、理科、外国語</p>	<p>前期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <p>[5教科7科目]</p> <p>大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。 個別学力検査前期日程の数学と理科と外国語の成績は、 大学入学共通テストの数学と理科と外国語の成績で代替 します。</p> <p>②個別学力検査等</p> <p>実施しません。そのため、追試験も実施しません。</p>
<p>後期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <p>[5教科7科目]</p> <p>②個別学力検査等</p> <p>数学、理科</p>	<p>後期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <p>[5教科7科目]</p> <p>大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。 個別学力検査後期日程の数学と理科の成績は、大学入学 共通テストの数学と理科の成績で代替します。</p> <p>②個別学力検査等</p> <p>実施しません。そのため、追試験も実施しません。</p>

○都市科学部

変更前	変更後
<p>前期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <p>【都市社会共生学科】</p> <p>・地理歴史・公民から1科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目]</p> <p>・地理歴史・公民から2科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目]</p> <p>【建築学科、都市基盤学科、環境リソ共生学科】</p> <p>[5教科7科目]</p> <p>②個別学力検査等</p> <p>【都市社会共生学科】</p> <p>小論文</p> <p>【建築学科、都市基盤学科、環境リソ共生学科】</p> <p>数学、理科、外国語</p>	<p>前期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <p>【都市社会共生学科】</p> <p>・地理歴史・公民から1科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目]</p> <p>・地理歴史・公民から2科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目]</p> <p>大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。 個別学力検査前期日程の成績は、大学入学共通テストの 国語、地理歴史・公民、外国語の成績で代替します。</p> <p>【建築学科、都市基盤学科、環境リソ共生学科】</p> <p>[5教科7科目]</p> <p>大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。 個別学力検査前期日程の成績は、大学入学共通テストの 数学、理科、外国語の成績で代替します。</p> <p>②個別学力検査等</p> <p>【全学科】</p> <p>実施しません。そのため、追試験も実施しません。</p>

変更前	変更後
<p>後期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <p>【都市社会共生学科】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地理歴史・公民から1科目の場合 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕 ・地理歴史・公民から2科目の場合 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕 又は〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕 </div> <p>【建築学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔5教科7科目〕</p> </div> <p>②個別学力検査等</p> <p>【都市社会共生学科】</p> <p>面接試験</p> <p>【建築学科、都市基盤学科】</p> <p>数学、理科</p> <p>【環境リスク共生学科】</p> <p>数学、小論文</p>	<p>後期日程</p> <p>①大学入学共通テスト</p> <p>【都市社会共生学科】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地理歴史・公民から1科目の場合 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕 ・地理歴史・公民から2科目の場合 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕 又は〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕 </div> <p>大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。 個別学力検査後期日程の成績は、大学入学共通テストの地理歴史・公民、その他1教科の成績で代替します。</p> <p>【建築学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔5教科7科目〕</p> </div> <p>大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。 個別学力検査後期日程の成績は、建築学科、都市基盤学科では大学入学共通テストの数学、理科の成績で、環境リスク共生学科では大学入学共通テストの数学の成績で代替します。</p> <p>②個別学力検査等</p> <p>【全学科】</p> <p>実施しません。そのため、追試験も実施しません。</p>

2. 特別選抜

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う海外在住者の帰国時期への影響や、中止・延期等となった大会や資格・検定試験等への対応、また、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見通せない中、入学志願者の安全と受験機会の確保を最優先するための対応として、出願要件および選抜方法を次の通り変更します。出願要件や選抜方法等の詳細については、本要項の37ページ以降を参照してください。

- 総合型選抜（経済学部および経営学部）：出願要件
- 学校推薦型選抜（教育学部）：出願要件
- 外国学校出身者選抜（経済学部）：出願要件
- 社会人選抜（経営学部）：出願要件
- YGEP-N1・N2（実施全学部）：出願要件
- YCCS 特別プログラム入試（都市科学部）：出願要件

変更前	変更後
<p><u>TOEFL iBT</u> のスコア証明書の提出を有効とします。</p>	<p><u>TOEFL iBT (Special Home Edition を含む)</u> のスコア証明書の提出を有効とします。</p>

○総合型選抜（教育学部）：選抜方法

変更前	変更後
<p>【第1次選抜】 自己推薦書、調査書、課題レポートの評価と併せて、<u>小論文試験</u>を課して、それらの結果を総合的に判断して第1次選抜合格者を決定します。<u>小論文試験は、小学校の授業風景を撮影したビデオを視聴の上、与えられた課題の論述を行います。</u></p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、<u>提出書類の内容を基に、複数の面接員による個人面接</u>を行います。<u>個人面接では、その場で与えられた課題に対するプレゼンテーション</u>を行います。また、これまでの<u>継続的な体験活動や課題レポート等</u>について説明していただき、<u>教育の今日的課題等の質問</u>を行います。</p>	<p>【第1次選抜】 自己推薦書、調査書、課題レポートの評価と併せて、<u>小論文試験の内容に相当する課題(以降、「小論文試験」という。)</u>を課して、それらの結果を総合的に判断して第1次選抜合格者を決定します。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、<u>面接試験の内容に相当する課題(以降、「面接試験」という。)</u>について、<u>動画での提出</u>を課します。課題には、<u>学校現場を想定したプレゼンテーション</u>を含みます。</p>

○学校推薦型選抜（教育学部）：出願要件

変更前	変更後
<p>(8) 保健体育専門領域の志願者にあつては、<u>都道府県大会・競技会で8位以内か、地区大会（都道府県より上位の大会を指す。例：関東地区大会、南関東地区大会 など）、全国大会、国際大会に出場した者。</u>この場合、<u>それに該当することを証明する資料のコピー</u>を添付すること。団体競技の場合は、<u>志願者が競技に参加したことが証明できるものを添付</u>すること。</p>	<p>(8) 保健体育専門領域の志願者にあつては、<u>スポーツ、武道、ダンスで成果を上げた者。</u>なお、<u>都道府県大会以上の大会に出場した経験のある者は、それを証明する資料のコピー</u>を添付すること。</p>

○学校推薦型選抜（教育学部）：選抜方法

変更前	変更後
<p>1. 入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び個別学力検査等を免除し、<u>小論文及び個人面接による試験</u>、推薦書、調査書、志願理由書、自己推薦書、英語専門領域を志願する者のみ外部試験、音楽専門領域を志願する者のみ聴音（2声の書き取り（大譜表、8小節程度））の実技試験、これらを総合的に評価します。</p>	<p>1. 入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び個別学力検査等を免除し、<u>小論文及び個人面接による試験に相当する課題の提出物（課題論文や動画など）、</u>推薦書、調査書、志願理由書、自己推薦書、英語専門領域を志願する者のみ外部試験、音楽専門領域を志願する者のみ聴音の試験に代る実技検査（<u>志願者が選んだ任意の1曲の演奏録画による</u>）、これらを総合的に評価して行います。</p>

○学校推薦型選抜（理工学部）：選抜方法

変更前	変更後
入学者の選抜は、令和3年度（2021年度）大学入学共通テストの成績・推薦書・調査書及び面接によって行います。	入学者の選抜は、令和3年度（2021年度）大学入学共通テストの成績・推薦書・調査書及び <u>自己推薦書</u> によって行います。

○帰国生徒選抜（教育学部）：出願要件

変更前	変更後
（2）外国の教育制度に基づいて外国に設置された学校から、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入し、（略）	（2）外国の教育制度に基づいて外国に設置された学校から、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入し、（略） 注5：（2）についてのみ、 <u>新型コロナウイルス感染拡大の影響で当初の予定を繰り上げて帰国し、出願要件を満たせなくなった場合に限り、出願期間前にご相談ください。</u>

○帰国生徒選抜（教育学部）：選抜方法

変更前	変更後
1. 入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び個別学力検査等を免除し、 <u>小論文及び個人面接</u> による試験、学業成績証明書、志願理由書及び自己推薦書の内容を総合して行います。	1. 入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び個別学力検査等を免除し、 <u>小論文及び個人面接による試験に相当する課題の提出物（課題論文や動画など）</u> 、学業成績証明書、志願理由書及び自己推薦書の内容を総合的に評価して行います。

○YGEP-N1（渡日）（実施全学部）：出願要件

YGEP-N1・N2（渡日前）（都市科学部）：出願要件

変更前	変更後
出願要件の対象とする日本留学試験は、 <u>令和2年（2020年）6月実施分および11月実施分</u> とします。	出願要件の対象とする日本留学試験は、 <u>令和2年（2020年）11月実施分のみ</u> とします。

○YGEP-N1（渡日）（理工学部）：選抜方法

変更前	変更後
数学及び面接	面接

○YGEP-N1（渡日前）（理工学部）：出願要件

変更前	変更後
出願要件の対象とする日本留学試験は、 <u>令和元年（2019年）11月実施分および令和2年（2020年）6月実施分</u> とします。	出願要件の対象とする日本留学試験は、 <u>令和元年（2019年）11月実施分のみ</u> とします。

□ 教育学部、経済学部および経営学部の組織改編について

教育学部については、令和3年（2021年）4月に以下の通り組織改編します。

また、経済学部および経営学部においては、両学部が連携して運営する、2つの新たな教育プログラムの新設を計画中です。したがって、この入学者選抜要項に掲載している当該学部の募集人員、出願資格、選抜方法および選抜期日などは全て予定であり、内容に変更があり得ます。

1. 組織改編の概要

(1) 教育学部

教育学部は、神奈川県内唯一の国立大学教員養成系学部として、地域の教員養成の中核的存在として従来以上に重要な役割を果たしていくため、学部の教育組織である課程名称を「学校教育課程」から「学校教員養成課程」に変更します。1年次から4年次までの小学校、中学校、特別支援学校等における様々な実習や現場体験を通して、教育に関わる諸課題を総合的、かつ多角的な見地から理解するとともに、実践的・先進的な資質能力を身につけた教員を養成しすべての学生たちを教員として世に送り出すことを目標としています。文明開化の地・横浜に位置する国立大学ならではの地域や世界とつながる実践的で先進的なカリキュラムを揃え、県内各教育委員会等と連携した教員養成及び教員研修などを通じ、グローバルな視点から教育の未来を切り拓くことのできる人材を輩出することを目指します。教職大学院の改組とも連動し、教育組織・カリキュラムの再編成も行います。

再編前（令和2年度（2020年度））

課程	コース	専門領域	入学定員
学校教育課程	人間形成コース	教育基礎／心理発達／日本語教育	210
	教科教育コース	国語／社会／数学／理科／音楽／美術／保健体育／技術／家庭科／英語	
	特別支援教育コース	特別支援教育	20



再編後（令和3年度（2021年度））

課程	コース	専門領域	入学定員
学校教員養成課程	言語・文化・社会系教育コース	国語／社会／英語／日本語教育／教育学	182
	自然・生活系教育コース	数学／理科／技術／家庭科	
	芸術・身体・発達支援系教育コース	音楽／美術／保健体育／心理学 特別支援教育	18

(2) 経済学部および経営学部

経済学部と経営学部において、経済系・経営系・法律系教員が連携して、数理・データサイエンスの重要性が高まる中、経済学部と経営学部の教育プログラム（EP）を新設し、今日的な社会ニーズに即した人材養成を行います。

なお、学部卒業後、大学院博士課程前期の学位プログラム（先進実践学環（仮称））に進学し、1年間で修士号を取得する「5年一貫プログラム」に参加することができます。

- ▶ ^{ディーセップ}DSEP（Data Science EP）：経済・経営の専門性と情報処理・統計分析能力の融合による新たな価値創造ができる人材を育成します。
- ▶ ^{エルビーブ}LBEEP（Lawcal Business Economics EP）：法学・政治学と経済学・経営学を学び、かつデータサイエンスの基礎も身に付け、エビデンスに基づく課題解決を担う人材を育成します。
^{エルビーブ}LBEEPのLawcalは、地域（local）と法（law）を組み合わせた造語です。

再編前（令和2年度（2020年度））

学部	学科	入学定員
経済学部	経済学科	238
経営学部	経営学科	287



再編後（令和3年度（2021年度））

学部	学科・教育プログラム	入学定員
経済学部	経済学科	238
	^{ディーセップ} DSEP（Data Science EP）	10
	^{エルビーブ} LBEEP（Lawcal Business Economics EP）	10
経営学部	経営学科	287
	^{ディーセップ} DSEP（Data Science EP）	10

○経済学部

経済学部では、^{ディーセップ}DSEP（Data Science EP）において、数理的思考を用いて経済社会が抱える諸問題の解決に貢献したい学生を募集します。

また、^{エルビーブ}LBEEP（Lawcal Business Economics EP）において、法学・政治学、地域社会の課題解決・実践に関心がある学生を募集します。

○経営学部

経営学部では、^{ディーセップ}DSEP（Data Science EP）において、数理的思考を用いてビジネスにおける課題解決に貢献したい学生を募集します。

2. 令和3年度(2021年度)入学者選抜

(1) 教育学部

教育学部では、一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜及び帰国生徒選抜を実施します。教育組織・教育カリキュラムの再編成により、以下の変更を行います。

- ① 一般選抜と特別選抜(総合型選抜・学校推薦型選抜)における募集人員の再配分を行います。
- ② 一般選抜においては、出願時にコース・専門領域を選択し、入学後は選択したコース・専門領域に進むものとします。
- ③ 教育現場より、英語又は理科の専門性をもつ小学校教員の養成を求められていることから、総合型選抜において理科及び英語専門領域枠を新設します。
- ④ 複数の免許をもつ中学校教員、特に技術・家庭科・美術の免許を併せもつ中学校教員を養成するため、学校推薦型選抜(全国枠)において技術・家庭科・美術専門領域の募集人員を増やします。
- ⑤ 児童・生徒の発達支援や心のケアのため、学校推薦型選抜(全国枠)において特別支援教育および心理学専門領域の募集人員を増やします。

これらの入試における募集人員、出願資格、選抜方法、選抜期日などは、21ページ以降に記載してあります。

(2) 経済学部および経営学部

経済学部と経営学部における教育プログラム(EP)の学生募集は、一般選抜において行われます。各学部において、下記のとおり実施する予定です。

なお、募集人員、出願資格、選抜方法、選抜期日の詳細は、23ページ以降に記載してあります。

○経済学部

ディーセップ
DSEP (Data Science EP) : 募集人員(前期日程5名、後期日程5名)

エルビーブ
LBEEP (Lawcal Business Economics EP) : 募集人員(前期日程10名)

○経営学部

ディーセップ
DSEP (Data Science EP) : 募集人員(前期日程7名、後期日程3名)

I 横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【横浜国立大学が入学者に求める学生像】

横浜国立大学は、自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語らい、柔軟な発想と主体的・創造的な課題探求・解決能力を身につけ、社会のリーダーとしてグローバルな共生社会に貢献したい人を求める学生像とする。

- 幅広い基礎学力を備え、確かな知識や技能を身につけたい人
- 知的好奇心や科学的探究心を持ち、新たな発見やアイデアを創造する思考力や判断力を獲得したい人
- 社会が直面する諸課題を解決するために、多様な人々と協働して主体的に社会へ参画する強い意志と責任感を持ちたい人
- 国境を超えたグローバル時代において、外国人学生と共にコミュニケーション力を高め、世界を舞台に発信・飛躍したい人
- 大学院に進学し、さらに高度の知識・技能を身につけ、高度専門職業人として社会に貢献したい人

【大学入学者選抜の実施方針】

横浜国立大学の大学入学者選抜は、入学者が高等学校段階までに身に付けた力を、大学が発展・向上させ、社会に送り出す大学教育システムを前提に、学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる入学志願者に求める学力を構成する3つの要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習する態度）を多面的・総合的に評価するものとする。学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）は、高等学校で履修すべき科目等をあらかじめ具体的に明示するとともに、大学入学後の教育課程プログラムとの関連を十分に踏まえつつ、入試方法の多様化、評価尺度の多元化に努めるものとする。

横浜国立大学では、学士課程における教育目標の達成のため、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）の3つのポリシーに加え、学士課程教育の質保証の方針（教学マネジメントPDCA・ポリシー）を含めた4つの方針について明確化し、公表しています。<https://www.ynu.ac.jp/education/plan/initiative/>

各学部の入学者受入方針

1. 教育学部

教育学部（学校教員養成課程）は、学校教育に関心が高く、教員として子どもの学びへの支援の方法を能動的かつ協働的に創造していこうとする強い熱意を有する人を求めている。教育学部が求める学生像は次のとおりである。

- 子どもとコミュニケーションをとりながら共に学び続けたい人
- 学校教育の充実、創造に貢献したい人
- 特別支援教育の充実、創造に貢献したい人
- 現代的な教育課題に対して、他者と協働して広い視野に立った解決策を構想し実践したい人

2. 経済学部

経済学部では、経済社会に常に関心を持ち、自分の力で課題を解決しようとする意欲のある人を求めます。

- 数学、外国語の基礎的学力を備えた人
- 必要な情報にアクセスするだけでなく、自己の思考で整理し、さらに自ら情報を発信する力を身につけようとする人
- 知的好奇心に溢れ、新しい見方やアイデアを具体化し、世の中に貢献していこうとする人
- 市場システム・経済社会制度を学び、経済学的手法で経済社会の諸課題の解決に挑戦したい人
- 経済・社会・歴史・制度に深い関心を持ち、世界経済を長期的に展望する能力を育み、国際社会が抱える問題の解決に貢献していこうとする人
- 経済と法律にまたがる事象に関心があり、経済学と法学の基礎的素養を修得し、法律の専門知識が生かせる仕事に就きたい人

3. 経営学部

経営学部では、社会の発展に貢献したい意欲的な学生を求めています。

企業は多面的な要素（ヒト、モノ、カネ、情報）と活動（研究開発、調達、生産、販売など）から構成され、複雑化しています。企業や組織の抱える問題に対する答えを出すのは容易ではありません。その答えを探す努力を惜しまない、次のような学生を求めています。

- 企業をはじめとする各種組織の経営に関する問題に興味のある人
- 興味を持ったら、その中の何かに対して疑問を持てる人
- 疑問を持ったら自ら解決に向かって行動できる人
- その過程で困難に出遭っても積極的に立ち向かえる人

4. 理工学部

- 自然科学の真理探究や独創的なものづくりを通して、自ら成長・発展しようとチャレンジ精神にあふれ、新しい時代に対応できる理工系のセンスと国際的視野を磨いて世の中への貢献を志す入学者を求めている。

【機械・材料・海洋系学科が求める学生像】

- 機械工学、材料工学、または海洋空間のシステムデザインの分野に興味を持ち、ミクロから宇宙までの様々なスケールの事象に対して知恵と技術とモノを用いることで、環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人を求めている。自由と責任を有する大人としての自律性と、基盤となる数学・物理・化学の基礎的能力を持ち、大学において自らの能力を高めようとする意欲を持つ人を求めている。

機械工学教育プログラム

- 機械工学に興味を持ち、機械工学の専門知識を用いて環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人
- 自由と責任を有する大人としての自立性と、基盤となる数学・物理・化学の基礎的能力とを持ち、大学において自らの能力を高めようとする意欲を持つ人

材料工学教育プログラム

- 物理や化学に基づいた、材料の様々な性質を生み出す仕組みの解明に興味がある人
- 材料工学に強い関心を持ち、新材料やその応用技術を開発したいと希望する人
- 既存の材料や製造プロセスに環境負荷低減技術を積極的に導入したいと意欲に溢れる人

海洋空間のシステムデザイン教育プログラム

- 環境と調和しつつ世界中を駆けめぐる“未来型の船舶や航空機”、世界中に潜在する海洋エネルギーや海底資源の利用を推進するための“斬新な海洋構造物”の設計エンジニアになりたい人
- 海洋から大気圏さらに宇宙を活躍の場とする“船舶、航空機、人工衛星の運用”の最適化を通して、人や物資の流れを作り、世界を1つにすることを目指したい人

【化学・生命系学科が求める学生像】

- 自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持ち、豊かな21世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人を求めている。
- 向学心に燃え、また発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人を求めている。

化学教育プログラム

- 化学の基礎知識を十分備え、さまざまな自然科学の知識を活用して、現象の真理を原子や分子レベルから探究することのできる研究者、および最先端化学を駆使することで、地球規模で人類が抱える諸問題解決や新しい機能性材料、エネルギー化学の創造に貢献できる技術者を目指す人。

化学応用教育プログラム

- 化学の基本知識を応用し、高度な化学反応プロセスや先端材料、新エネルギー材料の開発、実践的な安全管理や環境創出といった未来社会への課題解決に貢献できる研究者・技術者を目指す人。

バイオ教育プログラム

- 生物学、化学、物理学を基礎とする現代生物学の方法を通して生命を理解し、その成果を食糧問題や生命・医療などのグローバルな課題の解決に応用できるバイオ関連の技術者・研究者を目指す人。
- 向学心に燃え、また発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人。

【数物・電子情報系学科が求める学生像】

- 数学、物理の基本原理を深く理解し、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする気概があって、理工学の諸分野で国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲に満ちあふれた人
- 数学、物理、光や電気・電子、情報について強い関心や高い能力を持つ人

数理科学教育プログラム

- 現代の数学である数理科学を縦横に活用して社会に有為な人材になりたい人、また、将来、その発展に貢献することで国際的な活躍をしたい人
- 数学と物理、コンピュータの活用に興味があり、コンピュータグラフィックス、コンピュータシミュレーション、画像処理、数理モデリングなどを用い、世の中の複雑な現象・問題を理解・解決したい人

物理工学教育プログラム

- 宇宙、素粒子、様々な物質系などの性質を物理学の手法を用いて探究することに関心のある人
- 物理学を深く理解したうえで、工学の幅広い分野で常に原理に立ち返って新しい科学技術を生み出したい人

電子情報システム教育プログラム

- 電気・電子・通信・情報工学などに興味があり、これらの分野の研究者・技術者として、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする気概があって、理工学の諸分野での国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲に満ちあふれた人
- 電気・電子・通信・情報工学などの分野の研究者・科学者として、社会で役立つ実践力を身につけたい人
- 高度情報化社会を支える新しい先端的技術を創り出すことを目指す人

情報工学教育プログラム

- 情報学・情報工学の基礎から応用までを身につけ、自ら先端的な情報理論・処理方式・システムを創造して社会に貢献する意欲を持った人
- 人の優れた知能や能力をコンピュータ・機械で実現し、人を支援することで、人を中心とした豊かで安全・安心な未来社会を実現したいと考えている人

5. 都市科学部

- 理工系と人文社会系の知識を学ぶことで文理両面の視点を身につけたい人
- ローカル・グローバルにわたる多次元的な世界を相互理解できる広い視野をもち、横断的な課題解決能力、総合力を身につけたい人
- 上記の視点と視野・能力を身につけて、都市づくり・都市社会構築で都市の未来に貢献したい人

【都市社会共生学科が入学者に求める学生像】

- 現代社会においてダイバーシティ（多様性）が生み出す様々な問題と可能性の本質を理解した上で、技術・自然・人がより共生した都市社会の創成に貢献したい人
- 歴史を通じて培われてきた芸術や現代の文化が都市創成で果たす役割を学び、文化や芸術が持つ多様性を生み出す力で都市や社会を豊かにしたい人
- 国内外を問わず、都市化によって生み出される周縁化の問題（格差や貧困）を理解し、ダイバーシティに配慮した社会開発の策定・実践を行いたい人

【建築学科が入学者に求める学生像】

- 建築の思想を中心に芸術から工学まで幅広く学び、これからの時代を担う建築を都市の中に構想できる創造的な建築家になりたい人
- 自然災害に強く安全な建築や街づくりに貢献したいと願い、そこに集い住まう人たちの生命と財産を守ることができる建築構造エンジニアや建築構造デザイナーになりたい人
- 自然と調和した住空間のデザインスキルを身につけ、地球環境との均衡を保ちつつ人々の健康で快適な生活を実現できる建築環境設備エンジニアになりたい人
- 都市や建築の成り立ちや歴史の変遷を知り、未来社会に向けた持続可能な新しい街づくりを実践できる都市計画プランナーや都市デザイナーになりたい人
- 建築や都市に関する知見を生かして、地域社会や国際社会のファシリテーションやマネジメントに積極的に関わっていききたい人

【都市基盤学科が入学者に求める学生像】

- 自然環境との調和や共生など地球的観点に立ってより良い都市や国土の創造に興味がある人
- 地震、台風、火山、豪雨、津波などの自然災害から都市や社会を守るために、数学、物理学、化学を発展させた土木工学の基礎学理をリスクマネジメントに応用して、防災・減災の取り組みをしたい人
- IT/ビッグデータなどの最先端技術/情報と土木工学を融合させ、社会基盤の整備、維持管理や運用に活用して、都市や社会生活を豊かにしたい人
- 世界の政治や社会、経済状況に広く関心を持ち、社会基盤整備や地球規模の環境保全を通して、国際的に活躍したい人

【環境リスク共生学科が入学者に求める学生像】

- 個別知識では対応できない複雑で多様化した環境リスクに対し、ヒトから都市、自然生態系、地球までのシステム全体を視野に入れた知識展開力を備えた人
- 豊かさと表裏一体で生じるリスクとのバランスをマネジメントする「リスク共生」社会の実現をめざし、自然環境と社会環境のリスクを科学的に捉える数理的思考力と、ヒト・社会と対話できる社会科学的思考力を併せ持つ文理融合的素養を備えた人
- 都市に恵みや災いをもたらす自然システムや都市や地域に潜む環境リスクを予測・評価・分析し、リスクと共生した持続的発展に貢献できる実践力を有する人

II 入学者の募集人員

学部	課程・学科・コース 教育プログラム(EP) (EP: Education Program)		入 学 定 員	一般選抜		総合型選抜	学校推薦型選抜		帰国生徒 選 抜	外国学校 出 身 者 選 抜	社 会 人 選 抜	私費外国人留学生入試			YCCS 特 別 プ ロ グ ラ ム	
				前期日程	後期日程		地域枠	全国枠				YGEP-N1 (渡日入試)	YGEP-N1 (渡日前入試)	YGEP-N2 (渡日前入試)		
教 育 学 部	学校教員養成課程	言語・文化・社会系教育 コース	182	32	—	25	11	19	若干名	—	—	—	—	—	—	
		自然・生活系教育コース		29	—											20
		音楽・美術・保健 体育・心理学専門 領域 特別支援教育専門 領域		27	—											19
		教育発達支援系 芸術・身体・ 教育コース	18	12	—	—	1	5	若干名	—	—	—	—	—	—	
	小 計	200	100	—	25	75	若干名	—	—	—	—	—	—	—	—	
・総合型選抜または学校推薦型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。																
経 済 学 部	経済学科		258	140 (一般 125 DSEP 5 LBEEP 10)	80 (一般 75 DSEP 5)	15 GBEEP	15 一般	—	—	若干名 (前期日程 内 数)	—	8 (一般 6 GBEEP 2)	—	—	—	
・総合型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 ・YGEP-N1 (渡日入試) の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。																
経 営 学 部	経営学科		297	155 (一般 148 DSEP 7)	81 (一般 78 DSEP 3)	15	—	34	若干名 (前期日程 内 数)	—	4	8 (一般 6 GBEEP 2)	—	—	—	
・総合型選抜または社会人選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 ・学校推薦型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。 ・YGEP-N1 (渡日入試) の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。																
理 工 学 部	海洋系学科	機械工学 EP	185	56	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		材料工学 EP		18	16	8	—	—	—	—	—	—	—	—		
		海洋空間のシステムデザイン EP		17	8	10	—	—	—	—	—	—	—	—		
	学生化学 科命系	化学 EP・化学応用 EP	187	71	56	—	—	30	—	—	—	—	2	—	—	—
		バイオ EP		15	10	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	
	電子情報系 学科	数理科学 EP	287	20	15	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
		物理工学 EP		60	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		電子情報システム EP		63	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	情報工学 EP		30	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	小 計	659	350	252	18	33	0	0	0	0	6	0	0	0		
・総合型選抜または学校推薦型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 ・YGEP-N1 (渡日入試、渡日前入試) の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。																
都 市 科 学 部	都市社会共生学科	74	30	12	18	—	—	若干名	—	—	—	2	—	—	12	
	建築学科	70	40	19	7	—	—	2	—	—	—	2	—	—		
	都市基盤学科	48	18	12	10	—	—	—	—	—	—	8	—	—		
	環境リスク共生学科	56	30	10	10	—	—	—	—	—	—	6	—	—		
		小 計	248	118	53	45	0	2	0	0	0	18	—	—	12	
・総合型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 ・YGEP-N1 (渡日入試、渡日前入試) 及び YGEP-N2 (渡日前入試) の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。																
合 計			1,662	863	466	133	142	2	若干名	4	40	—	—	—	12	

ディーセップ

DSEP : 正式名称は Data Science 教育プログラム。経済学部と経営学部が連携して実施する教育プログラムで、経済・経営の専門性と情報処理・統計分析能力の融合による新たな価値創造ができる人材を育成します。なお、同プログラムを履修可能な入試を実施しているのは、経済学部と経営学部の一般選抜(前期日程・後期日程)です。

エルビーブ

LBEEP : 正式名称は Lawcal Business Economics 教育プログラム。経済学部と経営学部が連携して実施する教育プログラムで、法学・政治学と経済学・経営学を学び、かつデータサイエンスの基礎も身に付けて、エビデンスに基づく課題解決を担う人材を育成します。なお、同プログラムを履修可能な入試を実施しているのは、経済学部の一般選抜(前期日程)です。

ジービーブ

GBEEP : 正式名称は Global Business and Economics 教育プログラム。経済学部と経営学部が連携して実施する教育プログラムで、次のような特徴があります。①経済学と経営学の2つの学問領域を学修する。②英語による授業や海外学修の履修が課される。③卒業に必要な単位数は132単位以上で、一般プログラム(124単位)よりも多い。なお、同プログラムを履修可能な入試を実施しているのは、経済学部の総合型選抜、外国学校出身者選抜、YGEP-N1 と、経営学部の総合型選抜、帰国生徒選抜、YGEP-N1 です。

ワイゼップ エヌワン

ワイゼップ エヌツー

YGEP-N1及びYGEP-N2については72ページを参照してください。

Ⅲ 一般選抜

※灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の特例です。

1. 入学者選抜の実施方法

- (1) 入学者の選抜は、各学部の学科・課程の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」の両試験日程でそれぞれ入学者を募集し、選抜試験を実施します。ただし、教育学部では「後期日程」の選抜を実施しません。
- (2) 入学者の選抜は、令和3年度（2021年度）大学入学共通テストの成績と調査書・自己推薦書・**面接試験に相当する課題（以降、面接試験という。）**・**小論文（教育課題論文）試験に相当する課題（以降、小論文試験という。）**・**実技検査に相当する課題（以降、実技検査という。）**の提出物を総合して行います。
- (3) 調査書は簡潔に記載されていればよく、記述量の多寡は問いません。自己推薦書は志望学部・学科等のアドミッションポリシーを踏まえた大学入学後の目標と、その目標を達成するために努力したいことなど、学びに対する姿勢と学習意欲を確認します。教育学部では、面接試験において自己推薦書等を用いることがあります。**また、学部によって独自の追記事項を課す場合があります。**
- (4) 大学入学共通テストは、必ず令和3年度（2021年度）大学入学共通テストのうち学部・学科等が指定する教科・科目をすべて受験してください。なお、「地理歴史」・「公民」において2科目受験する場合は、第1解答科目で学部・学科等が指定した科目を受験してください。（本学では大学入試センター試験および大学入学共通テスト成績の過年度利用は行いません。）

2. 出願資格

入学を志願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ令和3年度（2021年度）大学入学共通テストにおいて、各学部・学科等が指定する教科・科目のすべてを受験した者です。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年（2021年）3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年（2021年）3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年（2021年）3月31日までにこれらに該当する見込みの者
- (4) 本学において、個別の入学資格審査（※）により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものと及び令和3年（2021年）3月31日までに18歳に達するもの
※詳細については36ページ（12. 個別の入学資格審査により出願する場合の手続について）をご覧ください。

【参考】学校教育法施行規則第150条の規定内容

1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年（2021年）3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和3年（2021年）3月までに修了見込みの者
3. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和3年（2021年）3月までに修了見込みの者

4. 文部科学大臣の指定した者
5. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和3年（2021年）3月31日までに合格見込みの者で、令和3年（2021年）3月31日までに18歳に達するもの
6. 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
7. 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び令和3年（2021年）3月31日までに18歳に達するもの

3. 一般選抜実施日程

募集要項公表（配布）	令和2年（2020年）11月中旬
出願期間 （前期日程・後期日程共通）	令和3年（2021年）1月25日（月）～2月5日（金）
	大学入学共通テスト特例追試験受験者 令和3年（2021年）2月15日（月）～2月18日（木）
個別学力検査実施日	本学試験場での試験は実施しません
合格者発表日	前期日程 令和3年（2021年）3月7日（日） 後期日程 令和3年（2021年）3月21日（日）

※学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。

4. 併願

志願者は、国立大学・学部のうち、分離分割方式の「前期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、合計2つの大学・学部に出願することができます。従って、「前期－後期」の併願は認められますが、「前期－前期」、「後期－後期」の併願は認められませんので注意してください。

5. 出願に関する各学部別の留意事項

(1) 教育学部

教育学部学校教員養成課程は「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース」の3コースで構成されます。また、各コースの専門領域・募集人員・試験科目は、次のとおりです。

コース	専門領域	募集人員	試験科目
言語・文化・社会系教育コース	国語	32	面接試験 小論文（教育課題論文）試験
	社会		
	英語		
	日本語教育		
	教育学		
自然・生活系教育コース	数学	29	面接試験 小論文（教育課題論文）試験
	理科		
	技術		
	家庭科		
芸術・身体・発達支援系教育コース	音楽	7	面接試験 実技検査（音楽の実技）
	美術	5	面接試験 実技検査（美術の実技）
	保健体育	7	面接試験 実技検査（体育の実技）
	心理学	8	面接試験 小論文（教育課題論文）試験
	特別支援教育	12	面接試験 小論文（教育課題論文）試験

- ① 「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース」のいずれか一つのコースを選択してください。なお、「芸術・身体・発達支援系教育コース」は、専門領域についても音楽・美術・保健体育・心理学・特別支援教育のいずれか一つの領域を選択してください。入学後は合格した入試で選択したコース・専門領域に所属することとし、コース・専門領域の変更は認めません。
- ② 「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）」（募集人員計81人）は**面接試験と小論文（教育課題論文）試験に相当する内容の動画やレポート等を作成して提出**してください。「芸術・身体・発達支援系教育コース（音楽・美術・保健体育専門領域）」（募集人員計19人）は、**面接試験と選択した専門領域の実技検査「音楽の実技」・「美術の実技」・「体育の実技」に相当する内容の写真や動画等を作成して提出**してください。また、入学者の選抜は選択したコース・専門領域ごとに行います。
- ③ 「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」に入学した者については、第1学年の10月頃までに、コース内で専門領域を決定します。この決定は、本人の希望及び入学後の学習状況をもとに行います。ただし、特定の専門領域を多数の者が希望した時には、選考試験を行います。
- ④ 学校教員養成課程における修学上の留意事項については、本学のウェブサイトをご確認ください。

<https://www.edu.ynu.ac.jp/campus/attention/>

(2) 経済学部

- ①前期日程と後期日程のそれぞれにおいて、志望できる教育プログラム（一般、^{ディーセップ}DSEP または ^{エルビーブ}LBEEP）は1つに限ります。ただし、^{ディーセップ}DSEP または ^{エルビーブ}LBEEP を志望した場合は、選抜の結果、一般プログラムの合格者となる場合があります。
- ②入学後に、他の教育プログラムに変更をすることはできません。

(3) 経営学部

- ①前期日程と後期日程のそれぞれにおいて、志望できる教育プログラム（一般または ^{ディーセップ}DSEP）は1つに限ります。ただし、^{ディーセップ}DSEP を志望した場合は、選抜の結果、一般プログラムの合格者となる場合があります。
- ②入学後に、他の教育プログラムに変更をすることはできません。

(4) 理工学部

- ①前期日程と後期日程のそれぞれにおいて、志望できる学科は1つに限ります。
- ②機械・材料・海洋系学科及び数物・電子情報系学科では、同じ学科内に限り、他の教育プログラムを第2志望とすることができます。ただし、化学・生命系学科では、第2志望を選択することはできません。化学・生命系学科の化学教育プログラム及び化学応用教育プログラムの学生募集は分けずに行い、教育プログラムの決定は、第2学年進級時に本人の希望と科目履修状況に基づいて行います。
各教育プログラムは、それぞれ教育内容に特徴があるので、第2志望の教育プログラムを選択する際は十分考慮してください。
- ③入学後に、同じ学科内の他の教育プログラムに変更を申請することができます（転E P制度）。変更を申請できる機会はあらかじめ定められた時期の1度のみで、入学後の成績を考慮して決定します。なお、変更できる人数には制限があります。また、化学・生命系学科の化学教育プログラムと化学応用教育プログラムの間の転E P制度はありません。

(5) 都市科学部

前期日程と後期日程のそれぞれにおいて、志望できる学科は1つに限ります。ただし、建築学科または都市基盤学科を志望する場合は、出願時に他方の学科を第2志望とすることができます。

6. 2段階選抜

経済学部及び経営学部においては、入学志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた場合には、学部が指定する大学入学共通テストの成績及び調査書により第1段階選抜を行い、その合格者についてのみ個別学力検査等を行う予定としていましたが、令和3年度（2021年度）の入学選抜では個別学力検査を実施しないため、2段階選抜を行いません。

7. 試験科目設定の意図

(1) 教育学部

教員となるための資質として、広い視野・教育に対する関心・問題解決への強い意志を必要とします。このため、高校時代には読解力や英語力を身につけ、文理双方の幅広い基礎教科を学んでください。

一般選抜では、教員志望の熱意、コミュニケーション能力等の適性を確認し、教員になるという意志が強く、教員になる上での資質の高い学生を選抜するために、受験者全員に面接試験に相当する内容の動画作成を課します。

「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）」を受験する者には読解力・文章作成力・論理的思考力などの教員になる上での基礎的な資質を評価するために小論文（教育課題論文）試験に相当する内容のレポート作成を課します。また、音楽・美術・保健体育専門領域を受験する者には音楽・美術・体育の実技検査に相当する内容の写真や動画の作成を課し、学校教員として必要となる実技能力を備えているか評価します。

(2) 経済学部

高等学校では基本科目を幅広く学んでください。一般選抜では数理的・論理的分析と国際コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学および英語の両方に優れた人を、後期日程では数学または英語のいずれかに秀でた人を求めます。

(3) 経営学部

高等学校では、基本科目を幅広く学ぶとともに、とりわけ数学と英語の学力向上に努めてください。一般選抜では論理的思考力と国際コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学または英語のいずれかに秀でた人を、後期日程では数学および英語の両方に優れた人を求めます。

(4) 理工学部

機械・材料・海洋系学科

高等学校では、機械・材料・海洋系学科で重要となる、数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広くしっかり学んでください。

特に本学科の広範な分野の基礎となる数学・物理・化学に関する学力をしっかり身につけておくことが重要です。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すためには、英語が重要であることはいうまでもありません。

化学・生命系学科

①化学E P・化学応用E P

高等学校では、化学はもちろんのこと、数学や物理などの基本科目をしっかり学んでください。

②バイオE P

高等学校では、バイオサイエンスの学修に必要な生物を中心に、数学、物理、化学などの基本科目をしっかり学んでください。

数物・電子情報系学科

大学入学後の学修の土台となる基礎学力を育成するためには、高等学校では基本的科目を幅広く学んでもらうことが必要です。特に数物・電子情報系の広範な分野の基礎となる数学・物理・化学に関する学力をしっかり身につけておくことが重要です。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すためには、英語が重要であることはいうまでもありません。

(5) 都市科学部

都市社会共生学科

高等学校では、文理双方の基本的科目を幅広く学んでください。

一般選抜の前期日程では、読解力・表現力と論理的思考、さらには都市や地域における社会性や共生についての考え方や理解を問うために、共通テストの国語、地理歴史・公民（第1解答科目）、外国語科目の得点を用います。後期日程では、総合的な思考力を問い、かつ都市・社会・共生の学科であるということ踏まえて、共通テストの地理歴史・公民（第1解答科目）を必須とし、もう一つは受験した大学入学共通テストの科目の中から最も得点の高かった科目（一部対象外科目、傾斜配点科目があります）の得点を用います。

建築学科

高等学校では、建築学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学んでください。

一般選抜の前期日程では、大学入学共通テストの数学、理科、外国語の得点を用います。後期日程では、数学、理科の得点を用います。

本学科の教育・研究において数学Ⅲは不可欠な内容であるため、基本を良く理解して使いこなせるように準備をしてください。

都市基盤学科

高等学校では、都市基盤学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学んでください。

一般選抜の前期日程では、大学入学共通テストの数学、理科、外国語の得点を用います。後期日程では、数学、理科の得点を用います。

本学科の教育・研究において数学Ⅲは不可欠な内容であるため、基本を良く理解して使いこなせるように準備をしてください。

環境リスク共生学科

高等学校では、英語、数学、国語、地理歴史・公民、理科の基礎科目をしっかりと学んでください。一般選抜の前期日程では大学入学共通テストにおいて数理的な能力や理科の能力、さらにグローバルな専門家として活躍するための英語力を問うための配点とし、環境リスクを扱うために必要なバランスの良い学力を持つ人を求めます。後期日程では大学入学共通テストにおける数学の配点を重くし、論理的思考力に秀でた人を求めます。

本学科の教育・研究において数学Ⅲは不可欠な内容であるため、基本を良く理解して使いこなせるように準備をしてください。

8. 一般選抜の実施教科・科目

(1) 教育学部

【学校教員養成課程 言語・文化・社会系教育コース、自然・生活系教育コース、芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目		
	教科	科目名等(注2)	
前期日程 (81名) (注1)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 } から1又は2 「倫理、政治・経済」 } ① 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 ② 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 ③ 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 ④ 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1	地理歴史・公民から 2科目の場合、 理科は①又は② 地理歴史・公民から 1科目の場合、 理科は③又は④
		地理歴史・公民から1科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 地理歴史・公民から2科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目]	

②個別学力検査等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別学力検査等の実施教科・科目		
	教科	科目名等(注3)	2段階選抜
前期日程 (81名) (注1)	その他	面接試験(調査書および自己推薦書の評価を含む)と小論文(教育課題論文)試験	実施しない

- (注1) 1. 各コース・専門領域の募集人員は、「言語・文化・社会系教育コース」32名、「自然・生活系教育コース」29名、「芸術・身体・発達支援系教育コース(心理学専門領域)」8名、「芸術・身体・発達支援系教育コース(特別支援教育専門領域)」12名です。
 2. 「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」に入学した者は、そのコース内のいずれかの専門領域(17ページ参照)に進むことになります。「芸術・身体・発達支援系教育コース」の各専門領域に入学した者は、それぞれの専門領域に所属し、他のコース・専門領域に進むことはできません。

- (注2) 1. 「理科」で③を選択する場合、同一名称を付した科目(例:「物理基礎」と「物理」など)の選択を認めず。
 2. 「地理歴史・公民」から2科目、「理科」で④を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史・公民」の第1解答科目の得点を採用し、次いで「地理歴史・公民」の第2解答科目の得点、「理科」の基礎を付した2科目の得点、「理科」の基礎を付さない1科目の得点のうち、得点の高い順に2つの得点を合否判定に用います。
 3. 「地理歴史・公民」から2科目、「理科」で④を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史・公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史・公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。
 4. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。
 5. 「英語」についてはリスニングテストを含みます。(「リスニングテスト」の免除を許可された者を除く。)
 6. 大学入学共通テスト(特例追試験)の出題教科・科目は上記の表と異なります。特例追試験では数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。

- (注3) 1. 面接試験と小論文(教育課題論文)試験は、個々に作成した動画やレポート等の提出物により評価します。
 2. 高い学力を有し、かつ、教員になるという意志が強く、教員になる上での資質の高い学生を選抜するため、受験者全員に面接試験に相当する内容の動画等作成を課します。
 3. 小論文(教育課題論文)試験ではレポート等の作成を課します。教育に関する日本語の文章をはじめ絵・図・表などの読み解き、あるいはそれらに基づいた文章の作成などにより、読解力・文章作成力・論理的思考力などの教員になる上での基礎的な資質を評価します。(なお、課題によっては、一部に英文を含むこともあります。)

③配点

試験の区分	前期日程							
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	面接試験	小論文試験	合計
大学入学共通テスト	200	200(100)	200	100(200)	200	—	—	900
個別学力検査等	—	—	—	—	—	200	200	400
合計	200	200(100)	200	100(200)	200	200	200	1300

- (注) 1. 大学入学共通テスト「地理歴史・公民」及び「理科」において、「地理歴史・公民」の得点に採用された科目が1科目の場合、()内の配点で計算します。
 2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。
 200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4
 3. 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記200点満点とリスニング50点満点を以下のとおり換算します。
 200点満点(筆記200点+リスニング50点)×0.8

【学校教員養成課程 芸術・身体・発達支援系教育コース（音楽・美術・保健体育専門領域）】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注2)
前期日程 (19名) (注1)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 } から1又は2 「倫理、政治・経済」 } ①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 ②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 ③「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 ④「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1
		地理歴史・公民から2科目の場合、理科は①又は② 地理歴史・公民から1科目の場合、理科は③又は④ ①～④のいずれか
		地理歴史・公民から1科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 地理歴史・公民から2科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目]

②個別学力検査等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別学力検査等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注3)	
前期日程 (19名) (注1)	その他	面接試験（調査書および自己推薦書の評価を含む）と選択した専門領域の実技検査「音楽の実技」、「美術の実技」、「体育の実技」	実施しない

(注1) 1. 各専門領域の募集人員は、「音楽専門領域」7名、「美術専門領域」5名、「保健体育専門領域」7名です。入学後は、選択した専門領域に所属し、他のコース・専門領域に進むことはできません。

(注2) 1. 「理科」で③を選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）の選択を認めず。
 2. 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で③を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点を採用し、次いで「地理歴史」・「公民」の第2解答科目の得点、「理科」の基礎を付した2科目の得点、「理科」の基礎を付さない1科目の得点のうち、得点の高い順に2つの得点を合否判定に用います。
 3. 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で④を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。
 4. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
 5. 「英語」についてはリスニングテストを含みます。（「リスニングテスト」の免除を許可された者を除く。）
 6. 大学入学共通テスト(特例追試験)の出題教科・科目は上記の表と異なります。特例追試験では数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。

(注3) 1. 面接試験と選択した専門領域の実技検査は、個々に作成した写真や動画等の提出物により評価します。
 2. 高い学力を有し、かつ、教員になるという意志が強く、教員になる上での資質の高い学生を选拔するため、受験者全員に面接試験に相当する内容の動画等作成を課します。
 3. 実技検査では、学校教員として必要となる実技能力を備えているか、提出物により評価します。詳細については、33ページ（9. 教育学部の実技検査）をご覧ください。

③配点

試験の区分	前期日程							
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	面接試験	実技検査	合計
大学入学共通テスト	200	200 (100)	200	100 (200)	200	—	—	900
個別学力検査等	—	—	—	—	—	200	200	400
合計	200	200 (100)	200	100 (200)	200	200	200	1300

(注) 1. 大学入学共通テスト「地理歴史・公民」及び「理科」において、「地理歴史・公民」の得点に採用された科目が1科目の場合、()内の配点で計算します。
 2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。
 200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4
 3. 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記200点満点とリスニング50点満点を以下のとおり換算します。
 200点満点 (筆記200点+リスニング50点)×0.8

(2) 経済学部

【経済学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (140名) 内訳： 一般 125名 ディーゼップ DSEP 5名 エルゼーブ LBEEP 10名	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史 B」、「日本史 B」、「地理 B」 } から 2 「倫理、政治・経済」 「数学 I・数学 A」と 「数学 II・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」 から 1 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」基礎を付した科目から 2 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」基礎を付さない科目から 1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から 1 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目]
後期日程 (80名) 内訳： 一般 75名 ディーゼップ DSEP 5名	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史 B」、「日本史 B」、「地理 B」 } から 1 (注2) 「倫理、政治・経済」 「数学 I・数学 A」と 「数学 II・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」 から 1 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」基礎を付した科目から 2 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」基礎を付さない科目から 1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から 1 [5教科6科目] 又は [5教科7科目]

- (注1) 1. 「理科」について基礎を付した科目及び基礎を付していない科目の両方の科目を受験した場合には、得点の高い科目を合否判定に用います。
 2. 「理科」について基礎を付していない科目を2科目受験した場合には第1解答科目の得点を合否判定に用います。
 3. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」、「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。
 4. 「英語」についてはリスニングテストを含みます。(「リスニングテスト」の免除を許可された者を除く。)
 5. 大学入学共通テスト(特例追試験)の出題教科・科目は上記の表と異なります。特例追試験では数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。

- (注2) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。

②選抜方法

個別学力検査等は実施せず、大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。

個別学力検査前期日程の数学と外国語の成績は、大学入学共通テストの数学と外国語の成績で代替します。

個別学力検査後期日程の数学又は外国語の成績は、大学入学共通テストの数学又は外国語の成績で代替します。

③配点

試験の区分	前期日程						後期日程					
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	200	200	200	100	200	900	200	100	200	100	200	800
個別学力検査等 (大学入学共通テストの成績で代替する)	—	—	600	—	600	1200	—	—	*1000	—	*1000	1000
合計	200	200	800	100	800	2100	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。
 2. 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。出願時に個別学力検査等の配点に利用する科目を選択してください。
 3. 後期日程で DSEPを志望する者については、個別学力検査等の配点に利用する科目として、「数学」を出願時に選択して受験してください。
 4. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。
 $200\text{点満点} = \text{リーディング}100\text{点} \times 1.6 + \text{リスニング}100\text{点} \times 0.4$
 5. 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記200点満点とリスニング50点満点を以下のとおり換算します。
 $200\text{点満点} = (\text{筆記}200\text{点} + \text{リスニング}50\text{点}) \times 0.8$
 6. 後期日程は、大学入学共通テストの合計点と個別学力検査の合計点をそれぞれ偏差値に換算し、4対5の比率で合計します。大学入学共通テストの偏差値は、志願者(受験無資格者を除く)全体のものとします。

DSEP および LBEEP の設置については計画中です。したがって、この入学者選抜要項に掲載している募集人員、出願資格、選抜方法および選抜期日などは全て予定であり、内容に変更があり得ます。

(3) 経営学部

【経営学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (155名) 内訳： 一般 148名 DSEP 7名	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、 「地理 A」、「地理 B」 } から 1 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治経済」 「数学 I・数学 A」と 「数学 II・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」 から 1 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」基礎を付した科目から 2 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」基礎を付さない科目から 1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1 〔5教科6科目〕又は〔5教科7科目〕
後期日程 (81名) 内訳： 一般 78名 DSEP 3名	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、 「地理 A」、「地理 B」 } から 1 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治経済」 「数学 I・数学 A」と 「数学 II・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」 から 1 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」基礎を付した科目から 2 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」基礎を付さない科目から 1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1 〔5教科6科目〕又は〔5教科7科目〕

- (注1) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
 2. 「地理歴史」のA科目を第1解答科目として選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてA科目を履修した者（高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定で「地理歴史」のA科目を合格している者を含みます。）に限ります。
 3. 「理科」について基礎を付した科目及び基礎を付していない科目の両方の科目を受験した場合には、得点の高い科目を合否判定に用います。
 4. 「理科」について基礎を付していない科目を2科目受験した場合には、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
 5. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
 6. 「英語」についてはリスニングテストを含みます。（「リスニングテスト」の免除を許可された者を除く。）
 7. 大学入学共通テスト(特別追試験)の出題教科・科目は上記の表と異なります。特別追試験では数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。

②選抜方法

個別学力検査等は実施せず、大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。
 個別学力検査前期日程の数学又は外国語の成績は、大学入学共通テストの数学又は外国語の成績で代替します。
 個別学力検査後期日程の数学と外国語の成績は、大学入学共通テストの数学と外国語の成績で代替します。
 加えて自己推薦書では経営学部独自の追記事項を課します。詳細は学生募集要項を確認してください。

③配点

試験の区分	前期日程						後期日程					
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	100	200	800	100	50	100	50	100	400
個別学力検査等 (大学入学共通テストの成績で代替する)	—	—	*400	—	*400	400	—	—	200	—	200	400
合計	—	—	—	—	—	—	100	50	300	50	300	800

- (注) 1. 大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。
 2. 数学と英語を重視するアドミッション・ポリシーに基づき、今回実施しない個別学力検査等の配点は大学入学共通テストの得点を利用し、以下の通り換算します。
 前期日程：数学 400点満点 大学入学共通テスト 数学 200点×2
 外国語 400点満点 大学入学共通テスト 外国語 200点×2
 後期日程：数学 200点満点 大学入学共通テスト 数学 100点×2
 外国語 200点満点 大学入学共通テスト 外国語 100点×2
 3. 配点に*印を付した教科は選択教科を表します。出願時に個別学力検査等の配点に利用する科目を選択してください。
 4. 前期日程で DSEP を志望する者については、個別学力検査等の配点に利用する科目として、「数学」を出願時に選択してください。
 5. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディングとリスニングの配点比率を4対1として、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。
 前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4
 後期日程：100点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4) ×0.5
 6. 大学入学共通テスト(特別追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記200点満点とリスニング50点満点を以下のとおり換算します。
 前期日程：200点満点 (筆記200点+リスニング50点) ×0.8
 後期日程：100点満点 (筆記200点+リスニング50点) ×0.8×0.5
 7. 前期日程では大学入学共通テストの合計点と個別学力検査等の成績とみなした得点をそれぞれ偏差値に換算し2対1の比率で合計します。大学入学共通テストの偏差値は、志願者(受験無資格者を除く)全体のものとします。
 8. 後期日程では大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の成績とみなした得点を1対1の比率で合計します。

DSEP の設置については計画中です。したがって、この入学者選抜要項に掲載している募集人員、出願資格、選抜方法および選抜期日などは全て予定であり、内容に変更があり得ます。

(4) 理工学部

【機械・材料・海洋系学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (91名) 機械工学E P 材料工学E P 海洋空間の システムデザインE P	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 [5教科7科目]
後期日程 (74名) 機械工学E P 材料工学E P 海洋空間の システムデザインE P	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 [5教科7科目]

- (注1) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。
3. 「英語」についてはリスニングテストを含みます。(「リスニングテスト」の免除を許可された者を除く。)
4. 大学入学共通テスト(特例追試験)の出題教科・科目は上記の表と異なります。特例追試験では数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。

②選抜方法

個別学力検査等は実施せず、大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。
 個別学力検査前期日程の数学と理科と外国語の成績は、大学入学共通テストの数学と理科と外国語の成績で代替します。
 個別学力検査後期日程の数学と理科の成績は、大学入学共通テストの数学と理科の成績で代替します。

③配点

試験の区分	前期日程						後期日程					
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	900	100	50	100	100	300	650
個別学力検査等 (大学入学共通テストの 成績で代替する)	—	—	450	450	300	1200	—	—	450	450	—	900
合計	200	100	650	650	500	2100	100	50	550	550	300	1550

- (注) 1. 大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。
2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。
 前期日程：200点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4)
 後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4) ×1.5
3. 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記200点満点とリスニング50点満点を以下のとおり換算します。
 前期日程：200点満点 (筆記200点+リスニング50点) ×0.8
 後期日程：300点満点 (筆記200点+リスニング50点) ×0.8×1.5
4. 個別学力検査の配点は、大学入学共通テストの成績を以下のとおり換算します。
 前期日程：数学450点満点(数学200点×2.25)
 理科450点満点(理科200点×2.25)
 外国語300点満点(外国語200点※×1.5)
 (※「外国語」の英語を受験した場合の200点は、上記2、3の換算点を利用する。)
 後期日程：数学450点満点(数学200点×2.25)
 理科450点満点(理科200点×2.25)

【化学・生命系学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (86名) 化学E P及び 化学応用E P バイオE P	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 [5教科7科目]
後期日程 (66名) 化学E P及び 化学応用E P バイオE P	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 [5教科7科目]

- (注1) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
 2. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
 3. 「英語」についてはリスニングテストを含みます。（「リスニングテスト」の免除を許可された者を除く。）
 4. 大学入学共通テスト(特例追試験)の出題教科・科目は上記の表と異なります。特例追試験では数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。

②選抜方法

個別学力検査等は実施せず、大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。

個別学力検査前期日程の数学と理科と外国語の成績は、大学入学共通テストの数学と理科と外国語の成績で代替します。

個別学力検査後期日程の数学と理科の成績は、大学入学共通テストの数学と理科の成績で代替します。

③配点

試験の区分	前期日程						後期日程					
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	900	100	50	100	100	300	650
個別学力検査等 (大学入学共通テストの 成績で代替する)	—	—	450	450	300	1200	—	—	450	450	—	900
合計	200	100	650	650	500	2100	100	50	550	550	300	1550

- (注) 1. 大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。
 2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合の配点、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。
 前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4
 後期日程：300点満点（リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4）×1.5
 3. 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記200点満点とリスニング50点満点を以下のとおり換算します。
 前期日程：200点満点（筆記200点+リスニング50点）×0.8
 後期日程：300点満点（筆記200点+リスニング50点）×0.8×1.5
 4. 個別学力検査の配点は、大学入学共通テストの成績を以下のとおり換算します。
 前期日程：数学450点満点（数学200点×2.25）
 理科450点満点（理科200点×2.25）
 外国語300点満点（外国語200点×1.5）
 （※「外国語」の英語を受験した場合の200点は、上記2、3の換算点を利用する。）
 後期日程：数学450点満点（数学200点×2.25）
 理科450点満点（理科200点×2.25）

【数物・電子情報系学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (173名) 数理学E P 物理学E P 電子情報システムE P 情報工学E P	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 [5教科7科目]
後期日程 (112名) 数理学E P 物理学E P 電子情報システムE P 情報工学E P	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 [5教科7科目]

- (注1) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
 2. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
 3. 「英語」についてはリスニングテストを含みます。（「リスニングテスト」の免除を許可された者を除く。）
 4. 大学入学共通テスト(特例追試験)の出題教科・科目は上記の表と異なります。特例追試験では数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。

②選抜方法

個別学力検査等は実施せず、大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。

個別学力検査前期日程の数学と理科と外国語の成績は、大学入学共通テストの数学と理科と外国語の成績で代替します。

個別学力検査後期日程の数学と理科の成績は、大学入学共通テストの数学と理科の成績で代替します。

③配点

試験の区分	前期日程						後期日程					
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	900	100	50	100	100	300	650
個別学力検査等 (大学入学共通テストの成績で代替する)	—	—	450	450	300	1200	—	—	450	450	—	900
合計	200	100	650	650	500	2100	100	50	550	550	300	1550

- (注) 1. 大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。
 2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合の配点、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。
 前期日程：200点満点（リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4）
 後期日程：300点満点（リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4）×1.5
 3. 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記200点満点とリスニング50点満点を以下のとおり換算します。
 前期日程：200点満点（筆記200点+リスニング50点）×0.8
 後期日程：300点満点（筆記200点+リスニング50点）×0.8×1.5
 4. 個別学力検査の配点は、大学入学共通テストの成績を以下のとおり換算します。
 前期日程：数学450点満点（数学200点×2.25）
 理科450点満点（理科200点×2.25）
 外国語300点満点（外国語200点※×1.5）
 （※「外国語」の英語を受験した場合の200点は、上記2、3の換算点を利用する。）
 後期日程：数学450点満点（数学200点×2.25）
 理科450点満点（理科200点×2.25）

(5) 都市科学部

【都市社会共生学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (30名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1又は2 「倫理、政治・経済」 ①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 ②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 ③「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 ④「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 地理歴史・公民から1科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 地理歴史・公民から2科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目]
後期日程 (12名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1又は2 「倫理、政治・経済」 ①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 ②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 ③「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 ④「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 地理歴史・公民から1科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 地理歴史・公民から2科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目]

- (注1) 1. 「理科」で◎を選択する場合、同一名称を付した科目(例:「物理基礎」と「物理」など)の選択を認めます。
 2. 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で◎を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点を採用し、次いで「地理歴史」・「公民」の第2解答科目の得点、「理科」の基礎を付した2科目の得点、「理科」の基礎を付さない1科目の得点のうち、得点の高い順に2つの得点を合否判定に用います。
 3. 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で◎を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。
 4. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。
 5. 「英語」についてはリスニングテストを含みます。(「リスニングテスト」の免除を許可された者を除く。)
 6. 大学入学共通テスト(特例追試験)の出題教科・科目は上記の表と異なります。特例追試験では数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。

②選抜方法

個別学力検査等は実施せず、大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。
 個別学力検査前期日程の成績は、大学入学共通テストの国語、地理歴史・公民、外国語の成績で代替します。
 個別学力検査後期日程の成績は、大学入学共通テストの地理歴史・公民、その他1教科の成績で代替します。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	小論文	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	面接	合計
大学入学共通テスト	200	200 (100)	200	100 (200)	200	—	900	200	200 (100)	200	100 (200)	200	—	900
個別学力検査等 (大学入学共通テストの成績で代替する)	200	100	—	—	100	—	400	—	100	—	—	—	—	200
合計	400	300 (200)	200	100 (200)	300	—	1300	大学入学共通テストの成績900点満点に、地理歴史・公民の第1解答科目100点とその他最も良い成績の1教科100点の合計200点満点を加えた1100点満点						1100

- (注) 1. 大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。
 2. 大学入学共通テスト「地理歴史・公民」及び「理科」において、「地理歴史・公民」の採用された科目が1科目の場合には、()内の配点で計算します。
 3. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

- 200点満点 リーディング 100点 \times 1.5+リスニング 100点 \times 0.5
4. 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記 200点満点とリスニング 50点満点を以下のとおり換算します。
200点満点 筆記 200点 \times 0.75+リスニング 50点
5. 後期日程において、配点に*印を付してある教科の中から1教科が採用されます。
6. 個別学力検査等の配点は、大学入学共通テストの成績を以下のとおり採用します。

【前期日程】

- (1) 地理歴史・公民は第1解答科目の得点を採用します。
- (2) 外国語は大学入学共通テストの成績を以下のとおり換算します。
英語：100点満点 (リーディング 100点+リスニング 100点) \times 0.5
英語以外の外国語：100点満点 200点 \times 0.5
- (3) 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記 200点満点とリスニング 50点満点を以下のとおり換算します。
100点満点 (筆記 200点 \times 0.5+リスニング 50点 \times 2) \times 0.5

【後期日程】

地理歴史・公民の第1解答科目 100点と下記①～③のうち最も得点の高いもの 100点の合計 200点満点を採用します。

① 下記(A)のうち、地理歴史・公民第1解答科目として受験した科目を除く最も得点の高かった科目。

② 下記(B)のうち受験をした2科目の合計。

③ 国語、外国語の得点を下記のとおり換算したもののうち、得点の高かった科目。

国語、英語以外の外国語：100点満点 200点 \times 0.5

英語：100点満点 (リーディング 100点+リスニング 100点) \times 0.5

大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記 200点満点とリスニング 50点満点を以下のとおり換算します。

100点満点 (筆記 200点 \times 0.5+リスニング 50点 \times 2) \times 0.5

- (A) 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫理、政治・経済」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」、「数学I・数学A」、「数学II・数学B」、「簿記会計」、「情報関係基礎」
- (B) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」

【建築学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (40名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 [5教科7科目]
後期日程 (19名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 [5教科7科目]

- (注1)
- 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
 - 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
 - 「英語」についてはリスニングテストを含みます。（「リスニングテスト」の免除を許可された者を除く。）
 - 大学入学共通テスト(特例追試験)の出題教科・科目は上記の表と異なります。特例追試験では数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。

②選抜方法

個別学力検査等は実施せず、大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。

個別学力検査前期日程の成績は、大学入学共通テストの数学、理科、外国語の成績で代替します。

個別学力検査後期日程の成績は、大学入学共通テストの数学、理科の成績で代替します。

③配点

試験の区分	前期日程						後期日程					
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	900	100	50	100	100	300	650
個別学力検査等 (大学入学共通テストの 成績で代替する)	—	—	450	450	300	1200	—	—	450	450	—	900
合計	200	100	650	650	500	2100	100	50	550	550	300	1550

- (注)
- 大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。
後期日程 英語以外の外国語：300点満点 200点×1.5
 - 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。
前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4
後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4)×1.5
 - 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記200点満点とリスニング50点満点を以下のとおり換算します。
前期日程：200点満点 (筆記200点+リスニング50点)×0.8
後期日程：300点満点 (筆記200点+リスニング50点)×0.8×1.5
 - 個別学力検査等の配点は、大学入学共通テストの点数を下記のとおり換算します。
数学 450点満点 前期日程：200点×2.25 後期日程：100点×4.5
理科 450点満点 前期日程：200点×2.25 後期日程：100点×4.5
外国語 300点満点 前期日程：200点×1.5

【都市基盤学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (18名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 [5教科7科目]
後期日程 (12名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 [5教科7科目]

- (注1) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
 2. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
 3. 「英語」についてはリスニングテストを含みます。（「リスニングテスト」の免除を許可された者を除く。）
 4. 大学入学共通テスト(特例追試験)の出題教科・科目は上記の表と異なります。特例追試験では数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。

②選抜方法

個別学力検査等は実施せず、大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。

個別学力検査前期日程の成績は、大学入学共通テストの数学、理科、外国語の成績で代替します。

個別学力検査後期日程の成績は、大学入学共通テストの数学、理科の成績で代替します。

③配点

試験の区分	前期日程						後期日程					
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	900	100	50	100	100	300	650
個別学力検査等 (大学入学共通テストの 成績で代替する)	—	—	450	450	300	1200	—	—	450	450	—	900
合計	200	100	650	650	500	2100	100	50	550	550	300	1550

- (注) 1. 大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。
 後期日程 英語以外の外国語： 300 点満点 200 点×1.5
 2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。
 前期日程：200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4
 後期日程：300 点満点 (リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4) ×1.5
 3. 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点を以下のとおり換算します。
 前期日程：200 点満点 (筆記 200 点+リスニング 50 点) ×0.8
 後期日程：300 点満点 (筆記 200 点+リスニング 50 点) ×0.8×1.5
 4. 個別学力検査等の配点は、大学入学共通テストの点数を下記のとおり換算します。
 数学 450 点満点 前期日程：200 点×2.25 後期日程：100 点×4.5
 理科 450 点満点 前期日程：200 点×2.25 後期日程：100 点×4.5
 外国語 300 点満点 前期日程：200 点×1.5

【環境リスク共生学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (30名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 [5教科7科目]
後期日程 (10名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 [5教科7科目]

- (注1)
- 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
 - 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
 - 「英語」についてはリスニングテストを含みます。（「リスニングテスト」の免除を許可された者を除く。）
 - 大学入学共通テスト(特例追試験)の出題教科・科目は上記の表と異なります。特例追試験では数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。

②選抜方法

個別学力検査等は実施せず、大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。

個別学力検査前期日程の成績は、大学入学共通テストの数学、理科、外国語の成績で代替します。

個別学力検査後期日程の成績は、大学入学共通テストの数学の成績で代替します。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	小論文	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	小論文	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	—	900	100	250	100	350	300	—	1100
個別学力検査等 (大学入学共通テストの 成績で代替する)	—	—	450	450	300	—	1200	—	—	650	—	—	—	650
合計	200	100	650	650	500	—	2100	100	250	750	350	300	—	1750

- (注)
- 大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。
後期日程 英語以外の外国語：300点満点 200点×1.5
 - 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。
前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4
後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4)×1.5
 - 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記200点満点とリスニング50点満点を以下のとおり換算します。
前期日程：200点満点 (筆記200点+リスニング50点)×0.8
後期日程：300点満点 (筆記200点+リスニング50点)×0.8×1.5
 - 個別学力検査等の配点は、大学入学共通テストの点数を下記のとおり換算します。
数学 前期日程：450点満点 200点×2.25 後期日程：650点満点 100点×6.5
理科 前期日程：450点満点 200点×2.25
外国語 前期日程：300点満点 200点×1.5

9. 教育学部の実技検査

【学校教員養成課程 芸術・身体・発達支援系教育コース（音楽・美術・保健体育専門領域）】（前期日程）

音 楽	<p>横浜国立大学試験会場で試験を実施することができないため、課題曲の演奏を録画し（録音のみは不可）、記録媒体で提出されたものにより実技検査を実施します。録画および提出の方法については「令和3年度（2021年度）一般選抜学生募集要項」で確認してください。</p> <p>次の1の実技検査を課す。</p> <p>1. 課題曲 「実技検査の詳細」を参照のうえ、下記の選択肢①②③の中から1つを選び、受験すること。</p> <p>① ピアノA+声楽B ② 声楽A+ピアノB ③ ピアノ以外の楽器+ピアノB+声楽B</p> <p>(実技検査の詳細)</p> <p>◆ ピアノA W. A. モーツァルトのピアノ・ソナタの中から任意の1曲を選択し（K. 282を除く）、第1楽章を暗譜で演奏する（繰り返しは省略）。 注1) 市販のピアノ・ソナタ集（W. A. モーツァルト）には、「幻想曲」ハ短調K. 475が収録されているが、K. 282と同様に選択肢から除外する。 注2) 演奏に使用する楽器の種類は、グランド・ピアノ、アップライト・ピアノ、電子ピアノのいずれかとする。</p> <p>◆ ピアノB J. S. バッハ：「インヴェンション2声」の中から任意の1曲を演奏する（視奏も可）。 注) 演奏に使用する楽器の種類は、グランド・ピアノ、アップライト・ピアノ、電子ピアノのいずれかとする。</p> <p>◆ 声楽A 次の曲の中から任意の1曲を選び、原語の歌詞、暗譜で歌う（伴奏は無し）。調は（ ）内に指定されたものから選ぶこと。また間奏部分は適宜、間を空けること。 F. Gasparini Caro laccio, dolce nodo （変ニ長調、変ホ長調、ヘ長調） A. Scarlatti Se tu della mia morte （ホ短調、ヘ短調、ト短調） 注1) 曲の歌い始めの音のみ音を取ることを認めるが、それ以降、曲の終わりまで一切の音取り（補助的に随時音を鳴らすことを含む）は不可とする。歌い始めの音以外で音取りをした場合には、採点の対象とならないことがある。 注2) 音取りに使用する楽器等の種類は問わない。</p> <p>◆ 声楽B コンコーネ50番 Op. 9 第29番を視唱する（伴奏は無し）。 1) 移動ド、固定ド、もしくは母音による視唱。 2) 高声・中声・低声用のいずれかを各自が選択すること。 注1) 曲の歌い始めの音のみ音を取ることを認めるが、それ以降、曲の終わりまで一切の音取り（補助的に随時音を鳴らすことを含む）は不可とする。歌い始めの音以外で音取りをした場合には、採点の対象とならないことがある。 注2) 音取りに使用する楽器等の種類は問わない。</p> <p>◆ ピアノ以外の楽器（電子楽器を除く） 5分程度の任意の1曲を演奏する（伴奏は無し）。 なお、入学後の器楽指導はピアノが中心となる。</p>
--------	--

<p>美 術</p>	<p>横浜国立大学試験会場で試験を実施することができないため、制作した美術作品を撮影し、プリントアウトして提出されたものにより実技検査を実施します。撮影および写真の提出の方法については「令和3年度（2021年度）一般選抜学生募集要項」で確認してください。</p> <p>次の1の実技検査を課す。</p> <p>1. 課題 本人が高等学校等在学中に制作した美術作品3～5点を掲載したポートフォリオ1冊により、実技の能力を判断する。美術作品は美術の授業等（自主制作を含む）で制作した作品とし、各作品を写真撮影しプリントアウトしたものをファイルして提出する。写真の大きさはA4サイズを原則とし、1枚の写真に1つの作品を撮影すること。また、本学所定の作品証明書により本人が制作したことを証明できる証明書も必ず提出すること。</p>
<p>体 育</p>	<p>横浜国立大学試験会場で試験を実施することができないため、実技の試技を録画し、記録媒体で提出されたものにより実技検査を実施します。録画および提出の方法については「令和3年度（2021年度）一般選抜学生募集要項」で確認してください。</p> <p>次の1、2の実技検査を課す。</p> <p>1. 次の4種目の実技すべてを行い、基礎的な運動能力と技能を総合的に評価する。 ① 器械運動 ② 陸上運動 ③ 表現運動 ④ ボール運動</p> <p>2. 次の①～⑩の種目の中から1種目を選択し、その専門的な運動能力と技能を総合的に評価する。 ① 陸上競技 ② ダンス ③ 剣道 ④ 柔道 ⑤ バレーボール ⑥ バスケットボール ⑦ サッカー ⑧ テニス（硬式） ⑨ 野球（軟式を含む） ⑩ 器械運動</p> <p>注1) 運動着および運動靴（体育館用並びに屋外用）を用意すること。 注2) 運動着の前後にゼッケン（20cm×20cmの白布に受験番号を黒書したもの）を縫い付けること。 安全ピンの使用は禁止する。 注3) 陸上競技、サッカー、野球では、スパイクの使用可。 注4) テニス、サッカー、野球、柔道、剣道を選択する者は、次に示す用具を各自用意すること。 テニス：ラケット、テニスシューズ サッカー：すねあて 野 球：グローブ、バット 柔 道：柔道着 剣 道：剣道具、竹刀</p>

10. 欠員の補充等

入学手続締切期日後に入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、原則として追加合格により欠員補充を行います。また、必要がある場合には欠員補充第2次募集を行います。

11. 一般選抜に係る入試情報開示

横浜国立大学では、入試情報の開示を次のとおり行います。

(1) 入試問題の正解・解答例等の情報開示

- ① 入試問題（教育学部前期日程のみ。ただし面接・実技を除く）の正解・解答例または出題意図（合格者発表後に概ね14日間程度開示します。）

横浜国立大学>入試情報>学部入試>一般選抜の情報開示
<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/public/index.html>

- ② 合格者の最高点、最低点、平均点（令和3年（2021年）4月中旬に開示します。）
ただし、合格者が5人未満の場合は開示しません。

注）経済学部後期日程、経営学部前期日程については、偏差値の合計を併記します。

横浜国立大学>入試情報>学部入試>過去の入試データ
<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/enforce/index.html>

(2) 入試個人成績の情報開示

① 開示対象者

一般選抜を受験し不合格となった者を対象とします。

なお、後期日程受験者で、前期日程に合格し令和3年（2021年）3月15日（月）までに入学手続を行った者は、開示対象とはなりません。

② 開示内容

（ア）試験成績：総合点（大学入学共通テスト及び個別学力検査等の合計）を開示します。

注）経済学部後期日程、経営学部前期日程については、偏差値の合計で開示します。

（イ）調査書：調査記載事項の平均点及び概評のみ開示します。

③ 申込期間

令和3年（2021年）5月17日（月）～7月16日（金）【必着】〔土・日曜日、祝日は除く〕
申込時間 8：30～12：45、13：45～17：00

④ 申込者

受験者本人に限ります。（代理人による申込みは認めません。）

⑤ 提出書類

（ア）横浜国立大学入試情報開示申請書（本学所定用紙）

（イ）各自が用意する返信用封筒（長形3号：120mm×235mm）に郵便番号・住所・受験者本人氏名を明記のうえ、414円分の切手を貼付したもの。前期日程と後期日程の両方の成績を申請する場合でも返信用封筒は1通のみ。）

（ウ）横浜国立大学受験票及び大学入学共通テスト受験票

⑥ 申込方法

郵送又は学務部入試課窓口で受け付けます。詳細は、一般選抜学生募集要項で確認してください。

⑦ 開示方法

受験者本人へ簡易書留郵便で後日送付します。

1.2. 個別の入学資格審査により出願する場合の手続について

2. 出願資格(15ページ)のうち、(4)に基づき出願する場合は、本学への出願前に必ず個別の入学資格審査を申請し、認定を受けてください。(出願資格(1)～(3)により出願する場合は、この手続を行う必要はありません。)

(1) 入学資格認定申請書の入手方法

次のいずれかの方法により、入学資格認定申請書(本学所定様式)を入手してください。

- ①本学所定様式を受け取るための返信用封筒(長形3号。申請者氏名・住所を明記し、94円分の切手を貼付すること。)を、本学学務部入試課に送付する。
- ②本学ウェブサイト(<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/qualification.html>)から、本学所定様式をダウンロードおよび印刷する。

(2) 審査要件(①～③いずれにも該当することが必要です。)

- ①専修学校、各種学校その他の教育施設(学校教育法第1条に掲げるものを除く。)において3年以上の学習歴があり、おおむね74単位(2,590単位時間)相当以上(平成11年度以前の入学者にあっては80単位(2,800単位時間)相当以上。単位(単位時間)については、高等学校学習指導要領による。)修得している者又は令和3年(2021年)3月修得見込みの者。
- ②前号の単位(単位時間)には、おおむね国語(相当する教科を含む。以下の各教科において同じ。)、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の5教科の単位(単位時間)を含んでいること。
- ③18歳に達したもの及び令和3年(2021年)3月31日までに18歳に達するもの

(3) 申請期間

(第1回申請期間)

郵送受付：令和2年(2020年)8月 3日(月)～8月21日(金)【必着】書留速達郵便に限る 窓口受付：令和2年(2020年)8月20日(木)～8月21日(金) 8:30～17:00
--

(第2回申請期間)

郵送受付：令和3年(2021年)1月29日(金)～2月 2日(火)【必着】書留速達郵便に限る 窓口受付：令和3年(2021年)2月 1日(月)～2月 2日(火) 8:30～17:00
--

(第3回申請期間)

窓口受付のみ：令和3年(2021年)2月15日(月) 17時までに本学学務部入試課に申し出ること。 ※対象は大学入学共通テスト特例追試験受験者のみ。 ※大学入学共通テスト特例追試験許可書を提示すること。

(4) 提出書類

- ①入学資格認定申請書(本学所定様式)
- ②調査書(各教科・科目の学習記録等が含まれているもの。)又は、最終出身学校等の卒業(見込)証明書及び成績証明書
- ③出身学校等のカリキュラム表等、教育課程が確認できる書類
- ④入学資格審査結果の通知を受け取るための返信用封筒(長形3号。申請者氏名・住所を明記し、704円分の切手を貼付すること。)

(5) 本学所定様式の請求先および提出書類の送付先

横浜国立大学学務部入試課

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8 (TEL.045-339-3121)

IV 特別選抜

1. 総合型選抜

(1) 教育学部

※灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の特例です。

実施学部 学科名等	教育学部 学校教員養成課程				
募集人員	25名 (内訳)				
		コース	専門領域	専門領域枠	
	言語・文化・社会系教育コース		国語		18名
			社会		
			英語	3名	
			日本語教育		
			教育学		
	自然・生活系教育コース		数学		
			理科	4名	
			技術		
		家庭科			
芸術・身体・発達支援系教育コース		音楽			
		美術			
		保健体育			
		心理学			
	特別支援教育				
合計			25名		
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年(2021年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年(2021年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年(2021年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの及び令和3年(2021年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 小学校教員になろうとする強い意欲を有し、合格した場合は入学することを確約できる者</p>				
選抜方法	<p>【第1次選抜】 自己推薦書、調査書、課題レポートの評価と併せて、小論文試験の内容に相当する課題(以降、「小論文試験」という。)を課して、それらの結果を総合的に判断して第1次選抜合格者を決定します。(自己推薦書、課題レポートの内容は39ページを参照してください。)</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、面接試験の内容に相当する課題(以降、「面接試験」という。)について、動画での提出を課します。課題には、学校現場を想定したプレゼンテーションを含みます。</p>				

小学校教員を志す者として、教育に対する情熱やコミュニケーション能力を有するかを総合的に評価し、第2次選抜合格者を決定します。

【最終合格者決定】

第2次選抜合格者に対し、大学入学共通テストの成績により選抜を行います。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。入学手続きが募集人員に満たなかった場合には、一般選抜の合格者で補充します。

(大学入学共通テストの教科・科目)

国語「国語」	}	から1又は2	}	地理歴史・公民から2科目の場合、理科はa又はb
地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」				
公民「倫理、政治・経済」	}	から2	}	地理歴史・公民から1科目の場合、理科はc又はd
理科a「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」				
b「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
c「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」				
d「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
数学「数学I・数学A」と 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」		から1		
外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」		から1		

地理歴史・公民から1科目の場合〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕
 地理歴史・公民から2科目の場合〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕
 又は〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕

注1:「理科」でcを選択する場合、同一名称を付した科目(例:「物理基礎」と「物理」など)の選択を認めます。

注2:「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」でcを選択して受験した場合は、まず「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点を採用し、次いで「地理歴史」・「公民」の第2解答科目の得点、「理科」の基礎を付した2科目の得点、「理科」の基礎を付さない1科目の得点のうち、得点の高い順に2つの得点を合否判定に用います。

注3:「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」でdを選択して受験した場合は、まず「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。

注4:「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。

注5:「英語」についてはリスニングテストを含みます。(リスニングテストの免除を許可された者を除く。)

注6:大学入学共通テスト(特例追試験)は、出題教科・科目が上記の表と異なります。特例追試験では、数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。

(大学入学共通テストの配点)

教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
配点	200	200 (100)	200	100 (200)	200	900

注7:大学入学共通テスト「地理歴史・公民」及び「理科」の配点において、「地理歴史・公民」の得点に採用された科目が1科目の場合は()内の配点で計算します。

注8:大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。
 200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4

注9:大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点を以下のとおり換算します。
 200 点満点 (筆記 200 点+リスニング 50 点)×0.8

出願期間	令和2年(2020年)9月15日(火)～令和2年(2020年)9月18日(金)【郵送、必着】
選抜期日	第1次選抜期日 :書類審査及び小論文試験 第2次選抜期日 :面接試験 本学試験場での試験は実施しません。
合格者発表日	第1次選抜合格者発表:令和2年(2020年)10月19日(月) 第2次選抜合格者発表:令和2年(2020年)11月24日(火) 最終合格者発表:令和3年(2021年)2月15日(月) 最終合格者発表:令和3年(2021年)2月22日(月) (大学入学共通テスト特例追試験受験者)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教員養成課程における修学上の留意事項については、本学のウェブサイトを確認してください。 https://www.edu.ynu.ac.jp/campus/attention/ ・令和3年度(2021年度)の入学選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。そのため、この入学選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトで必ず確認をしてください。 ・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。

自己推薦書、課題レポートの内容	
自己推薦書	<p>本学部所定の用紙を用いて、以下の点に留意し、志願者本人が1,000字以内で自己PRを書いてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学校教員養成課程を総合型選抜で志望する理由 ② 小学校教員になることに対する熱意や適性 ③ 入学後の学修計画[単なる履修計画ではなく、自主的な学修計画(例えば、ボランティア、アシスタントティーチャー、学外活動等)] <p>これまでの生活の中で小学校の児童又は中学校の生徒とふれあう継続的な体験活動等の経験があれば、「自己推薦書補足資料」用紙にその内容を記述し、それを示す資料があればA4判のコピーを添付してください。</p>
課題レポート	<p>本学部所定の用紙を用いて、あなたが小学校教員になって児童に教えてみたいことを、以下の4点を必ず含めて、2,000字以内で書いてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① どの学年のどのような指導内容をとり上げるのか。 ② その指導内容をとり上げた理由は何か。 ③ その指導内容を児童がどのように受け止めると予想しているか。 ④ 児童の受け止め方に対して、どのような対応が考えられるか。

(2) 経済学部

※経済学を中心にして^{ジーベープ}GBEEP(14ページ参照)での学修を希望する方のための入試を含みます。

※灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の特例です。

実施学部 学科名等	経済学部 経済学科
募集人員	GBEEP :15名
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年(2021年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年(2021年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年(2021年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの及び令和3年(2021年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 以下の1～3のすべてを満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学することを確約できる者 2. 令和3年度(2021年度)大学入学共通テストにおいて本学部が指定する教科・科目を受験する者 3. 以下の外部英語試験のうち、いずれか1つ以上を受験し出願期間内に成績証明書等を提出できる者 <p>ただし、実用英語技能検定については、入試を実施する年度の2年前の4月1日以降に(令和3年度(2021年度)入試については、平成30年(2018年)4月1日以降に)受験した試験のスコアのみを受け付けます。TOEFL iBT、TOEIC L&R、IELTSについては、出願開始日から遡って2年以内に受験した試験のスコアのみを受け付けます。なお、TOEFL iBTのスコアは本学に直送されたもののみを受け付けます。他の外部英語試験のスコアは原本のみを受け付けます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定(英検) ・TOEIC L&R ・TOEFL iBT (Special Home Edition を含みます。 Test Date スコアを採用します。) ・IELTS(Academic Module) </div>
選抜方法	<p>入学者選抜は、第1次選抜、第2次選抜及び最終選抜の3段階で行います。</p> <p>【第1次選抜】 志願者が募集人員の3倍を超えた場合は、書類(英語スコア)により選抜を行います。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、自己推薦書及び他の提出書類により複数の面接員による個人面接試験を行い、熱意と適性を総合的に判断します。 なお、英語など学習経験のある外国語による質疑応答も行います。</p> <p>【最終選抜】 第2次選抜合格者に対し、大学入学共通テストを課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>数 学 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 外国語 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1</p> <p style="text-align: right;">〔2教科3科目〕</p> </div> <p>注1:「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しない。</p> <p>注2:「英語」についてはリスニングテストを含みます。(リスニングテストの免除を許可された者を除く。)</p>

	<p>注3:大学入学共通テスト(特例追試験)は、出題教科・科目が上記の表と異なります。特例追試験では、数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。</p> <p>(大学入学共通テストの配点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史 ・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GBEEP</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>200</td> <td>—</td> <td>200</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>注4:大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4</p> <p>注5:大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 (筆記 200 点+リスニング 50 点)×0.8</p>	教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計	GBEEP	—	—	200	—	200	400
教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計									
GBEEP	—	—	200	—	200	400									
出願期間	令和2年(2020年)10月12日(月)～令和2年(2020年)10月16日(金)【郵送、必着】														
選抜期日	第1次選抜期日 :書類選抜 第2次選抜期日 :令和2年(2020年)12月21日(月)														
合格者発表日	第1次選抜合格者発表:令和2年(2020年)11月13日(金) 第2次選抜合格者発表:令和3年(2021年)1月8日(金) 最終合格者発表:令和3年(2021年)2月12日(金) 最終合格者発表:令和3年(2021年)2月19日(金) (大学入学共通テスト特例追試験受験者)														
その他	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。 そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。 最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトで必ず確認をしてください。 学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。 														

実施学部 学科名等	経済学部 経済学科
募集人員	一般プログラム :15名
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年(2021年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年(2021年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年(2021年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び令和3年(2021年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 以下の1～3のすべてを満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学することを確約できる者 2. 令和3年度(2021年度)大学入学共通テストにおいて本学部が指定する教科・科目を受験する者 3. 以下の外部英語試験のうち、いずれか1つ以上を受験し出願期間内に成績証明書等を提出できる者 <p>ただし、実用英語技能検定については、入試を実施する年度の2年前の4月1日以降に(令和3年度(2021年度)入試については、平成30年(2018年)4月1日以降に)受験した試験のスコアのみを受け付けます。TOEFL iBT、TOEIC L&R、IELTSについては、出願開始日から遡って2年以内を受験した試験のスコアのみを受け付けます。なお、TOEFL iBTのスコアは本学に直送されたもののみを受け付けます。他の外部英語試験のスコアは原本のみを受け付けます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定(英検) ・TOEIC L&R ・TOEFL iBT (Special Home Edition を含みます。Test Date スコアを採用します。) ・IELTS(Academic Module) </div>
選抜方法	<p>入学者選抜は、第1次選抜、第2次選抜及び最終選抜の3段階で行います。</p> <p>【第1次選抜】 志願者が募集人員の2倍を超えた場合は、書類(英語スコア)により選抜を行います。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、自己推薦書及び他の提出書類により複数の面接員による面接試験を行い、熱意と適性を総合的に判断します。</p> <p>【最終選抜】 第2次選抜合格者に対し、大学入学共通テストを課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>国 語 「国語」 数 学 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 外国語 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1</p> <p style="text-align: right;">〔3教科4科目〕</p> </div> <p>注1:「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しない。</p> <p>注2:「英語」についてはリスニングテストを含みます。(リスニングテストの免除を許可された者を除く。)</p> <p>注3:大学入学共通テスト(特例追試験)は、出題教科・科目が上記の表と異なります。特例追試験では、数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。</p>

	(大学入学共通テストの配点)						
	教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計
	一般プログラム	200	—	400	—	300	900
	<p>注4:大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。 数学 :400 点満点 200 点×2 英語以外の外国語:300 点満点 200 点×1.5</p> <p>注5:大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。 300 点満点 (リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4)×1.5</p> <p>注6:大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点を以下のとおり換算します。 300 点満点 (筆記 200 点+リスニング 50 点)×0.8×1.5</p>						
出願期間	令和2年(2020年)10月12日(月)～令和2年(2020年)10月16日(金)【郵送、必着】						
選抜期日	第1次選抜期日 :書類選抜 第2次選抜期日 :令和2年(2020年)12月21日(月)						
合格者発表日	第1次選抜合格者発表:令和2年(2020年)11月13日(金) 第2次選抜合格者発表:令和3年(2021年)1月8日(金) 最終合格者発表:令和3年(2021年)2月12日(金) 最終合格者発表:令和3年(2021年)2月19日(金) (大学入学共通テスト特例追試験受験者)						
その他	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトです必ず確認をしてください。 学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。 						

(3) 経営学部

※経営学を中心にして^{ジーベープ}GBEEP(14ページ参照)での学修を希望する方のための入試です。

※灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の特例です。

実施学部 学科名等	経営学部 経営学科
募集人員	15名
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年(2021年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年(2021年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年(2021年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの及び令和3年(2021年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 以下の1～3のすべてを満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学することを確約できる者 2. 令和3年度(2021年度)大学入学共通テストにおいて、本プログラムが指定する教科・科目を受験する者 3. 以下の外部英語試験のうち、いずれか1つ以上を受験し出願期間内に成績証明書等を提出できる者 <p>ただし、実用英語技能検定については、入試を実施する年度の2年前の4月1日以降に(令和3年度(2021年度)入試については、平成30年(2018年)4月1日以降に)受験した試験のスコアのみを受け付けます。TOEFL iBT、TOEIC L&R、IELTSについては、出願開始日から遡って2年以内に受験した試験のスコアのみを受け付けます。なお、TOEFL iBTのスコアは本学に直送されたもののみを受け付けます。他の外部英語試験のスコアは原本のみを受け付けます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定(英検) ・TOEIC L&R ・TOEFL iBT (Special Home Edition を含みます。 Test Date スコアを採用します。) ・IELTS(Academic Module) </div>
選抜方法	<p>入学者選抜は、第1次選抜、第2次選抜及び最終選抜の3段階で行います。</p> <p>【第1次選抜】 志願者が募集人員の3倍を超えた場合は、書類(英語スコア)により選抜を行います。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、自己推薦書および他の提出書類により複数の面接員による個人面接を行い、熱意と適性を総合的に判断します。 なお、英語など学習経験のある外国語による質疑応答も行います。</p> <p>【最終選抜】 第2次選抜合格者に対し、大学入学共通テストを課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>数 学 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 外国語 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1</p> <p style="text-align: right;">〔2教科3科目〕</p> </div> <p>注1:「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。</p> <p>注2:「英語」についてはリスニングテストを含みます。(リスニングテストの免除を許可された者を除</p>

	<p>く。)</p> <p>注3: 大学入学共通テスト(特例追試験)は、出題教科・科目が上記の表と異なります。特例追試験では、数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。</p> <p>(大学入学共通テストの配点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史 ・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>200</td> <td>—</td> <td>200</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3: 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディングとリスニングの配点比率を4対1として、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4</p> <p>注4: 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 (筆記 200 点+リスニング 50 点)×0.8</p>	教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計	配点	—	—	200	—	200	400
教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計									
配点	—	—	200	—	200	400									
出願期間	令和2年(2020年)10月12日(月)～令和2年(2020年)10月16日(金)【郵送、必着】														
選抜期日	第1次選抜期日 : 書類選抜 第2次選抜期日 : 令和2年(2020年)12月21日(月)														
合格者発表日	第1次選抜合格者発表: 令和2年(2020年)11月13日(金) 第2次選抜合格者発表: 令和3年(2021年)1月8日(金) 最終合格者発表: 令和3年(2021年)2月12日(金) 最終合格者発表: 令和3年(2021年)2月19日(金) (大学入学共通テスト特例追試験受験者)														
その他	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。 そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。 最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトです必ず確認をしてください。 学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。 														

(4) 理工学部

実施学部 学科名等	理工学部 機械・材料・海洋系学科 材料工学教育プログラム		
募集人員	8名		
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年(2021年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年(2021年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年(2021年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの及び令和3年(2021年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 令和3年度(2021年度)大学入学共通テストにおいて学科・教育プログラムの指定する教科・科目のすべてを受験する者 		
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類審査とします。以下の書類により、材料工学教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書(本学様式) 材料工学教育プログラムに対する熱意を600字程度で、当プログラムを学んだ後の将来の夢を600字程度で自己推薦してください。図表を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図表は手書きが条件です。また、自己推薦書を裏付ける実績を証明する資料の写し(ポスター・造形物は写真)を添付しても構いません。 2. 調査書等 材料工学教育プログラムへの適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、自己推薦書による適性及び能力を判断するために、面接試験(口頭試問による学力検査(数学・物理及びそれらに関する総合的な能力の検査))を課します。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、下記の大学入学共通テストの教科・科目を課し、大学入学共通テストの結果により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <table border="1" data-bbox="339 1487 1406 1682"> <tr> <td> 数 学 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 理 科 「物理」、「化学」 外国語 「英語」 </td> <td style="text-align: right;">[3教科・5科目]</td> </tr> </table> <p>注1:「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しない。</p> <p>注2:「英語」についてはリスニングテストを含みます。(リスニングテストの免除を許可された者を除く。)</p> <p>注3:大学入学共通テスト(特例追試験)は、出題教科・科目が上記の表と異なります。特例追試験では、数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」は出題されないため、選択することができません。</p>	数 学 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 理 科 「物理」、「化学」 外国語 「英語」	[3教科・5科目]
数 学 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 理 科 「物理」、「化学」 外国語 「英語」	[3教科・5科目]		

	(大学入学共通テストの配点)						
	教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計
	配点	—	—	200	200	200	600
	<p>注4: 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4</p> <p>注5: 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 (筆記 200 点+リスニング 50 点)×0.8</p>						
出願期間	令和2年(2020年)9月16日(水)～令和2年(2020年)9月24日(木)【郵送、必着】						
選抜期日	第1次選抜期日 : 書類選抜 第2次選抜期日 : 令和2年(2020年)11月22日(日)						
合格者発表日	第1次選抜合格者発表: 令和2年(2020年)10月13日(火) 第2次選抜合格者発表: 令和2年(2020年)12月 8日(火) 最終合格者発表 : 令和3年(2021年) 2月16日(火) 最終合格者発表 : 令和3年(2021年) 2月22日(月) (大学入学共通テスト特例追試験受験者)						
その他	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度(2021年度)の入学選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。 そのため、この入学選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。 最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトです必ず確認をしてください。 学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。 						

実施学部 学科名等	理工学部 機械・材料・海洋系学科 海洋空間のシステムデザイン教育プログラム																				
募集人員	10名																				
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年(2021年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年(2021年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年(2021年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの及び令和3年(2021年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 令和3年度(2021年度)大学入学共通テストにおいて学科・教育プログラムの指定する教科・科目のすべてを受験する者 																				
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類審査とします。以下の書類により、海洋空間のシステムデザイン教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書(本学様式) 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムに対する熱意及び海洋空間のシステムデザイン教育プログラムに関連する分野の将来像や、それに対して自身がどう貢献したいかを含め、1,000字程度で自己推薦してください。図表を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図表は手書きが条件です。 2. 調査書等 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムへの適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、自己推薦書による適性及び能力を判断するために、面接試験(口頭試問による学力検査(数学・物理及びそれらに関する総合的な能力の検査))を課します。海洋空間のシステムデザイン教育プログラムのウェブサイトにて、過去の出題例を公開していますので、参考にしてください。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、下記の大学入学共通テストの教科・科目を課し、大学入学共通テストの結果により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <table border="1" data-bbox="339 1503 1406 1659"> <tr> <td>国語「国語」</td> <td>数学「数学Ⅰ・数学A」と、「数学Ⅱ・数学B」</td> <td>外国語「英語」</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">〔3教科・4科目〕</td> </tr> </table> <p>注:「英語」についてはリスニングテストを含みます。(リスニングテストの免除を許可された者を除く。)</p> <p>(大学入学共通テストの配点)</p> <table border="1" data-bbox="339 1809 1406 1912"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>—</td> <td>200</td> <td>—</td> <td>200</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1: 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4</p>	国語「国語」	数学「数学Ⅰ・数学A」と、「数学Ⅱ・数学B」	外国語「英語」	〔3教科・4科目〕			教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	配点	200	—	200	—	200	600
国語「国語」	数学「数学Ⅰ・数学A」と、「数学Ⅱ・数学B」	外国語「英語」																			
〔3教科・4科目〕																					
教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計															
配点	200	—	200	—	200	600															

	注2: 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 (筆記 200 点+リスニング 50 点)×0.8
出願期間	令和2年(2020年)9月16日(水)～令和2年(2020年)9月24日(木)【郵送、必着】
選抜期日	第1次選抜期日 : 書類選抜 第2次選抜期日 : 令和2年(2020年)11月22日(日)
合格者発表日	第1次選抜合格者発表: 令和2年(2020年)10月13日(火) 第2次選抜合格者発表: 令和2年(2020年)12月 8日(火) 最終合格者発表: 令和3年(2021年) 2月16日(火) 最終合格者発表: 令和3年(2021年) 2月22日(月) (大学入学共通テスト特例追試験受験者)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。 そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。 最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトです必ず確認をしてください。 学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。

(5) 都市科学部

実施学部 学科名等	都市科学部 都市社会共生学科																					
募集人員	18名																					
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年(2021年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年(2021年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年(2021年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び令和3年(2021年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 令和3年度(2021年度)大学入学共通テストにおいて学科の指定する教科・科目のすべてを受験する者 																					
選抜方法	<p>【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特色活動説明書及び学習計画書 <p>・特色活動説明書(本学様式): これまで自分がおこなってきた特色ある活動について、その内容と意義や魅力を、600字程度で具体的に説明してください。文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。</p> <p>・学習計画書(本学様式):以下の点について、600字程度で記述してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①都市・社会・文化の領域で特に興味を持っていることは何か ②その関心を大学でどのように深め、社会や世界でどのように活かしていきたいか <p>文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 調査書等:都市社会共生学科への適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、文章実技+面接試験による選抜を行う。文化的・社会的現象に関するテーマについての基本的な理解、論理的思考力及び表現力を問う内容で行う。 注:文章実技では、文化的・社会的現象に関する600字程度の作文を当日に課し、口頭試問では志望動機や学習計画と合わせて作文内容についても質疑を行う。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、以下の大学入学共通テストの試験教科・科目を課し、大学入学共通テストの結果により、最終的な合格者を決定する。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <table border="1" data-bbox="328 1637 1410 1928"> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>「世界史B」、「日本史B」、「地理B」</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「倫理、政治・経済」</td> <td rowspan="3">} ④又は⑥のいずれか</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>①「数学Ⅰ・数学A」と、 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>④の場合[4教科・5科目]</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑥の場合[4教科・4科目]</td> </tr> </table> <p>注1:「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。</p> <p>注2:「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育</p>	国語	「国語」	} から1	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	公民	「倫理、政治・経済」	} ④又は⑥のいずれか	数学	①「数学Ⅰ・数学A」と、 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1	理科	②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1				④の場合[4教科・5科目]			⑥の場合[4教科・4科目]
国語	「国語」	} から1																				
地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」																					
公民	「倫理、政治・経済」	} ④又は⑥のいずれか																				
数学	①「数学Ⅰ・数学A」と、 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1																					
理科	②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1																					
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1																					
		④の場合[4教科・5科目]																				
		⑥の場合[4教科・4科目]																				

	<p>課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しない。</p> <p>注3:「英語」についてはリスニングテストを含みます。(リスニングテストの免除を許可された者を除く。)</p> <p>注4:大学入学共通テスト(特例追試験)は、出題教科・科目が上記の表と異なります。特例追試験では、数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。</p> <p>(大学入学共通テストの配点)</p> <table border="1" data-bbox="331 448 1399 542"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>*200</td> <td>*200</td> <td>200</td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table> <p>注5:配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。</p> <p>注6:大学入学共通テスト「地理歴史・公民」は、第1解答科目の得点を2倍にして合否判定に用います。</p> <p>注7:④大学入学共通テスト「数学」を受験したものについては、「数学Ⅰ・数学A」の得点と、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」のいずれかの得点の合計を「数学」の得点とします。⑥大学入学共通テスト「理科」を受験したものについては、最も得点の高い科目の得点を2倍にしたものを「理科」の得点とします。④⑥の得点の高いほうを合否判定に用います。</p> <p>注8:大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。 200点満点 リーディング100点×1.5+リスニング100点×0.5</p> <p>注9:大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記200点満点とリスニング50点満点を以下のとおり換算します。 200点満点 筆記200点×0.75+リスニング50点</p>	教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	配点	200	200	*200	*200	200	800
教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計									
配点	200	200	*200	*200	200	800									
出願期間	令和2年(2020年)9月18日(金)～令和2年(2020年)9月24日(木)【郵送、必着】														
選抜期日	第1次選抜期日 :書類選抜 第2次選抜期日 :令和2年(2020年)11月14日(土)														
合格者発表日	第1次選抜合格者発表:令和2年(2020年)10月28日(水) 第2次選抜合格者発表:令和2年(2020年)12月2日(水) 最終合格者発表:令和3年(2021年)2月16日(火) 最終合格者発表:令和3年(2021年)2月22日(月)(大学入学共通テスト特例追試験受験者)														
その他	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト(https://www.ynu.ac.jp/)にてお知らせします。最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトで必ず確認をしてください。 学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。 														

実施学部 学科名等	都市科学部 建築学科
募集人員	7名
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年(2021年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年(2021年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年(2021年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものと及び令和3年(2021年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 高等学校若しくは中等教育学校等で数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bのすべて(旧教育課程履修は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cのすべて)を履修した者及び履修見込みの者(注1・注2) <p>注1: 高等学校若しくは中等教育学校等を令和3年(2021年)3月までに卒業見込みの者は学校長名または担当教諭名の証明書(本学所定の様式)を添付すること。 注2: 上記に指定する名称以外の科目で履修した者及び履修見込みの者は事前確認を行うこと(詳細は募集要項を確認してください。)</p>
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類審査及び実技試験とします。 以下により、建築学科への熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書(本学様式) 建築学科に対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。 図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図は手書きが条件です。 2. 調査書等 建築学科への適性を判断するために使用します。 3. 実技試験 自己推薦書による適性及び能力を判断するために実技試験(造形に関する思考力・表現力の検査)を課します。 建築学科のウェブサイト、出題例を公開していますので、参考にしてください。 (本学ウェブサイト https://www.ynu-arc.jp/admission/) <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、面接試験(口頭試問による論理的思考力・理解力・表現力の検査)を課します。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜時の試験の結果により、最終合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>なお、大学入学共通テストは課しません。</p>
出願期間	令和2年(2020年)9月18日(金)～令和2年(2020年)9月24日(木)【郵送、必着】
選抜期日	<p>第1次選抜期日 : 令和2年(2020年)10月17日(土)</p> <p>第2次選抜期日 : 令和2年(2020年)11月14日(土)</p>
合格者発表日	<p>第1次選抜合格者発表: 令和2年(2020年)10月28日(水)</p> <p>最終合格者発表: 令和2年(2020年)12月2日(水)</p>
その他	<p>・令和3年度(2021年度)の入学選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。 そのため、この入学選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト(https://www.ynu.ac.jp/)にてお知らせします。 最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトで必ず確認をしてください。 ・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。</p>

実施学部 学科名等	都市科学部 都市基盤学科														
募集人員	10名														
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年(2021年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年(2021年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年(2021年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び令和3年(2021年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 高等学校若しくは中等教育学校等で数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bのすべて(旧教育課程履修者は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cのすべて)を履修した者及び履修見込みの者(注1・注2) 3. 令和3年度(2021年度)大学入学共通テストにおいて学科の指定する教科・科目のすべてを受験する者 <p>注1: 高等学校若しくは中等教育学校等を令和3年(2021年)3月までに卒業見込みの者は学校長名または担当教諭名の証明書(本学所定の様式)を添付すること。 注2: 上記に指定する名称以外の科目で履修した者及び履修見込みの者は事前確認を行うこと。(詳細は募集要項を確認してください)</p>														
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類選抜とします。以下の書類により、都市基盤学科への熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書(本学様式) 都市基盤学科に対する熱意を、以下の点についてそれぞれ指定された字数で記述してください。図を入れても結構ですが字数には含みません。文書・図は手書きが条件です。 (1) 都市基盤学科を志望する理由(自分の能力や実績、社会や技術に対する自分の考えなどとの関係から記述してください): 400字程度 (2) 都市基盤学科を卒業した後の自分の姿: 200字程度 (3) 自分の特徴(良い点、悪い点): 200字程度 (4) いままで勉強以外で力を入れてきたことや得意なことなど: 200字程度 2. 調査書等 都市基盤学科への適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、面接試験を課します。面接試験では、志望動機等に関する質疑、物理的・社会的現象を対象とした課題に関するプレゼンテーションとそれに関する質疑(口頭試問による理解力、表現力の検査)を行います。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、以下の大学入学共通テスト教科・科目を課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <table border="1" data-bbox="335 1724 1404 2016"> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> <td rowspan="4">} から 1</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>「世界史B」、「日本史B」、「地理B」</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から 2</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から 1</td> <td rowspan="2">} から 1</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">〔5教科・7科目〕</p>	国語	「国語」	} から 1	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から 2	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から 1	} から 1	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1
国語	「国語」	} から 1													
地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」														
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」														
理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から 2														
数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から 1	} から 1													
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1														

	<p>注1:「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を可否判定に用います。</p> <p>注2:「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しない。</p> <p>注3:「英語」についてはリスニングテストを含みます。(リスニングテストの免除を許可された者を除く。)</p> <p>注4:大学入学共通テスト(特例追試験)は、出題教科・科目が上記の表と異なります。特例追試験では、数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。</p> <p>(大学入学共通テストの配点)</p> <table border="1" data-bbox="339 593 1402 689"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史 ・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>注5:大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4</p> <p>注6:大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 (筆記 200 点+リスニング 50 点)×0.8</p>	教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計	配点	200	100	200	200	200	900
教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計									
配点	200	100	200	200	200	900									
出願期間	令和2年(2020年)9月18日(金)～令和2年(2020年)9月24日(木)【郵送、必着】														
選抜期日	第1次選抜期日 :書類選抜 第2次選抜期日 :令和2年(2020年)11月14日(土)														
合格者発表日	第1次選抜合格者発表:令和2年(2020年)10月28日(水) 第2次選抜合格者発表:令和2年(2020年)12月 2日(水) 最終合格者発表 :令和3年(2021年) 2月16日(火) 最終合格者発表 :令和3年(2021年) 2月22日(月) (大学入学共通テスト特例追試験受験者)														
その他	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトです必ず確認をしてください。 学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。 														

実施学部 学科名等	都市科学部 環境リスク共生学科										
募集人員	10名										
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年(2021年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年(2021年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年(2021年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び令和3年(2021年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 令和3年度(2021年度)大学入学共通テストにおいて学科の指定する教科・科目のすべてを受験する者 										
選抜方法	<p>【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書 環境リスク共生学科に対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。 図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図は手書きが条件です。 2. 調査書等 環境リスク共生学科への適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、適性及び能力を判断するために、実際の研究材料や資料、データなどを調べ、結果をまとめて発表する実習(環境学への興味とセンス、思考力、発想力、表現力の検査)を課します。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、以下の大学入学共通テスト教科・科目を課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">国語「国語」</td> <td rowspan="4" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">} から 1</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">公民「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">理科「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">数学「数学Ⅰ・数学A」と</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">} から 1</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">〔5教科・7科目〕</p> <p>注1:「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。</p> <p>注2:「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しない。</p> <p>注3:「英語」についてはリスニングテストを含みます。(リスニングテストの免除を許可された者を除く。)</p> <p>注4:大学入学共通テスト(特例追試験)は、出題教科・科目が上記の表と異なります。特例追試験では、数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。</p>	国語「国語」	} から 1	地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	公民「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	理科「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2	数学「数学Ⅰ・数学A」と	} から 1	「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」	外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1	
国語「国語」	} から 1										
地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」											
公民「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」											
理科「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2											
数学「数学Ⅰ・数学A」と	} から 1										
「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」											
外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1											

	(大学入学共通テストの配点)						
	教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計
	配点	200	250	450	350	300	1550
	<p>注5: 大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。</p> <p>地理歴史・公民 : 250 点満点 100 点× 2.5</p> <p>数学 : 450 点満点 200 点× 2.25</p> <p>理科 : 350 点満点 200 点× 1.75</p> <p>英語以外の外国語: 300 点満点 200 点× 1.5</p> <p>注6: 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。</p> <p>300 点満点 (リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4)×1.5</p> <p>注7: 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点を以下のとおり換算します。</p> <p>300 点満点 (筆記 200 点+リスニング 50 点)×0.8×1.5</p>						
出願期間	令和2年(2020年)9月18日(金)～令和2年(2020年)9月24日(木)【郵送、必着】						
選抜期日	<p>第1次選抜期日 : 書類選抜</p> <p>第2次選抜期日 : 令和2年(2020年)11月14日(土)</p>						
合格者発表日	<p>第1次選抜合格者発表: 令和2年(2020年)10月28日(水)</p> <p>第2次選抜合格者発表: 令和2年(2020年)12月 2日(水)</p> <p>最終合格者発表 : 令和3年(2021年) 2月16日(火)</p> <p>最終合格者発表 : 令和3年(2021年) 2月22日(月) (大学入学共通テスト特例追試験受験者)</p>						
その他	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。 そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。 最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトです必ず確認をしてください。 学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。 						

2. 学校推薦型選抜

(国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。)

(1) 教育学部

※灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて配慮した事項です。

実施学部 学科名等	教育学部 学校教員養成課程			
募集人員	75名 (内訳)			
		コース	専門領域	全国枠
		言語・文化・社会系教育コース	国語	4名
			社会	4名
			英語	4名
			日本語教育	3名
			教育学	4名
		自然・生活系教育コース	数学	4名
			理科	4名
			技術	6名
			家庭科	6名
		芸術・身体・発達支援系教育コース	音楽	4名
	美術		6名	
	保健体育		4名	
	心理学		5名	
		特別支援教育	5名	1名
	合計		63名	12名
	<p>注1:全国枠・地域枠いずれも、1校当たりの被推薦者数に制限はありません。</p> <p>注2:全国枠で出願できるコース・専門領域は1つに限ります。</p> <p>注3:神奈川県在住者は、全国枠と地域枠の併願が可能です。併願する場合は、それぞれについての入学検定料が必要になります。</p> <p>注4:全国枠と地域枠を併願し、全国枠で合格した者は地域枠については合否対象から除外します。</p> <p>注5:全国枠合格者および特別支援教育専門領域合格者は入学後にコース・専門領域を変更できません。地域枠合格者(特別支援教育専門領域合格者を除く)で入学した者は入学後第1学年の10月頃までにコース・専門領域を決定します。この決定は、全国枠の併願の有無や全国枠で出願したコース・専門領域に関わらず、本人の希望及び入学後の学修状況を基に行います。ただし、特定のコース・専門領域を多数の者が希望した時には選考試験を行います。</p> <p>注6:合格者数が募集人員を下回ることもあります。</p>			
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】</p> <p>次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、学校長の推薦を受けた者</p> <p>(1)令和2年(2020年)4月から令和3年(2021年)3月までに高等学校(特別支援学校の高等部を含む)若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2)令和2年(2020年)4月から令和3年(2021年)3月までに高等専門学校3年次修了見込みの者</p> <p>(3)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年(2020年)4月から令和3年(2021年)3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>【要件】</p> <p>次の(1)～(4)を全て満たす者</p> <p>(1)児童・生徒の育成に熱意を持ち、小・中・特別支援学校等の教員になる強い意欲を持つ者</p> <p>(2)調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(3)学校長が、次のア及びイについて人物及び能力等に責任を持って推薦できる者</p> <p>ア. 学習成績が優秀で教員となる強い意欲及びそれにふさわしい資質を持つ者として認めることができる者</p> <p>イ. 児童・生徒の育成に熱意を持って当たることができると認められる者</p> <p>(4)合格した場合には、本学に入学することを確約できる者</p>			

	<p>地域枠に出願する場合は、【要件】(1)～(4)を全て満たし、かつ、次の(5)及び(6)を満たす者 (5)志願者及びその父母又はこれに準ずる者が出願時に神奈川県に住民票がある者 注：世帯主の氏名と志願者の氏名及び続柄が記載されている住民票の写し(原本)を添付してください。(住民票を添付できない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。) (6)神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市の学校教育に関して、強い興味・関心を持つ者</p> <p>全国枠に出願する場合は、【要件】(1)～(4)を全て満たし、かつ、学校長が「出願するコース・専門領域に強い興味・関心を持ち、十分な能力を有する者であること」を、責任を持って推薦できる者 美術、保健体育、家庭科、英語の各専門領域の志願者にあつては、以下の要件も満たすこと。 (7)美術専門領域の志願者にあつては、本人が高等学校等在学中に授業等で制作した美術作品または、本人が企画運営等行った美術活動等に関する資料のいずれか 1 点以上を、出願時に提出できる者。美術作品は写真撮影してプリントしたものを提出すること。写真の大きさは A4 以内とし見やすいものとする。志願者はその成果を証明できる本学所定の活動証明書を出願時に提出すること。※希望者には写真等の資料を郵送により返却します。 (8)保健体育専門領域の志願者にあつては、スポーツ、武道、ダンスで成果を上げた者。なお、都道府県大会以上の大会に出場した経験のある者は、それを証明する資料のコピーを添付すること。団体競技の場合は、志願者が競技に参加したことが証明できるものを添付すること。 (9)家庭科専門領域の志願者にあつては、自分の現在の生活を振り返り、家族・家庭や衣食住に関する課題を設定しレポートにまとめて提出できる者。なお、レポートには課題設定の理由・課題解決の方法・結果・考察を含む(A4 用紙使用、字数制限なし)。 (10)英語専門領域の志願者にあつては、出願時から2年以内の外部試験のスコア証明書原本{英検、TOEFL [iBT (Special Home Edition を含む)、ITP (団体向けテストプログラム)]、TOEIC [公開テスト、IP (団体特別受験制度)]、IELTS (Academic Module)、GTEC (4 技能または 3 技能のオフィシャルスコア)のいずれか1つ}を提出できる者。また、英語に関する学内外での活動(海外研修・英語ディベート入賞など)経験がある場合はその証明書(様式任意、学校長の押印が必要)を提出すること。※スコア証明書原本は郵送により返却します。</p>
<p>選抜方法</p>	<p>1. 入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び個別学力検査等を免除し、小論文及び個人面接による試験に相当する課題の提出物(課題論文や動画など)、推薦書、調査書、志願理由書、自己推薦書、英語専門領域を志願する者のみ外部試験、音楽専門領域を志願する者のみ聴音の試験に代る実技検査(志願者が選んだ任意の 1 曲の演奏録画による)、これらを総合的に評価して行います。 2. 試験内容、提出方法等の詳細については「令和3年度 教育学部 学校教員養成課程 学校推薦型選抜学生募集要項」(9月上旬公表予定)で確認してください。小論文及び個人面接による試験に相当する課題(社会専門領域の指定文献を含む)については、71ページを参照してください。 3. 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。入学者が募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。</p>
<p>出願期間</p>	<p>令和2年(2020年)11月 9日(月)～令和2年(2020年)11月13日(金)【郵送、必着】</p>
<p>選抜期日</p>	<p>本学試験場での試験は実施しません。</p>
<p>合格者発表日</p>	<p>令和2年(2020年)12月21日(月)</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校教員養成課程における修学上の留意事項については、本学のウェブサイトを確認してください。 https://www.edu.ynu.ac.jp/campus/attention/ 令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトで必ず確認をしてください。 学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。 <p>学校推薦型選抜に地域枠を設定した理由 学校教員養成課程は、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、相模原市教育委員会等と連携した地域密着型の教員養成課程として、地域の小・中・特別支援学校の教員を養成する中心的役割を担うことを目標としています。そのため、学校推薦型選抜に地域枠を設定しています。</p>

(2) 経営学部

実施学部 学科名等	経営学部 経営学科
募集人員	34名
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 出身学校長の推薦を受けた者で、令和2年(2020年)4月から令和3年(2021年)3月までに高等学校(特別支援学校の高等部及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を含む。)若しくは中等教育学校を卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者</p> <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学部において、大学教育を修めたい希望と学業に対する熱意を持ち、出身学校における学習成績概評がA段階(調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上)に属し、出身学校長が責任をもって人物・学力ともに優れていると認め推薦できる者 2. 合格した場合には入学の確約ができる者 <p>(注)推薦人員について 1校2名まで推薦できます。ただし、教育課程が違う場合(全日制、定時制等)は、同一の学校(学校長)でも別の学校と見なします。</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、小論文、面接による試験と志望理由書、出身学校長が作成した推薦書および調査書を総合して行います。大学入学共通テストは免除します。</p> <p>小論文及び面接の内容については、71ページを参照してください。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>
出願期間	令和2年(2020年)11月 2日(月)～令和2年(2020年)11月 9日(月) 【郵送、必着】
選抜期日	令和2年(2020年)12月 7日(月)
合格者発表日	令和2年(2020年)12月17日(木)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。 そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト(https://www.ynu.ac.jp/)にてお知らせします。 最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトで必ず確認をしてください。 ・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。

(3) 理工学部

※灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の特例です。

実施学部 学科名等	理工学部 化学・生命系学科																													
募集人員	化学教育プログラム・化学応用教育プログラム 30名 バイオ教育プログラム 3名																													
出願要件	次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者 【基礎資格】出身学校長の推薦を受け、かつ、令和3年度大学入学共通テストにおいて指定する教科・科目のすべてを受験した者で、次の1または2に該当する者 1. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)若しくは中等教育学校を令和2年(2020年)4月から令和3年(2021年)3月までに卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和2年(2020年)4月から令和3年(2021年)3月までに修了または修了見込みの者 【要件】次の1から4のすべてに該当する者 1. 出身学校長が人物、能力等について責任をもって推薦できる者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 出身学校において理科を2科目以上履修した者 4. 合格した場合には入学の確約ができる者 ※「理科」とは、「物理基礎」、「物理」、「化学基礎」、「化学」、「生物基礎」、「生物」、「地学基礎」、「地学」を指します。																													
選抜方法	<p>入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績・推薦書・調査書及び自己推薦書によって行います。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目〔5教科7科目〕)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> <td rowspan="4">} から1</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>「世界史B」、「日本史B」、「地理B」</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理, 政治・経済」</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>「物理」、「化学」、「生物」から2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1</td> <td></td> </tr> </table> <p>注1: 「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。 なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。 注2: 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。 注3: 「英語」についてはリスニングテストを含みます。(リスニングテストの免除を許可された者を除く。) 注4: 大学入学共通テスト(特例追試験)は、出題教科・科目が上記の表と異なります。特例追試験では、数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」、外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」は出題されないため、選択することができません。</p> <p>(大学入学共通テストの配点)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>注5: 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4 注6: 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の英語を受験した場合、筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 (筆記 200 点+リスニング 50 点) ×0.8</p>	国語	「国語」	} から1	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理, 政治・経済」	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1	理科	「物理」、「化学」、「生物」から2		外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1		教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	配点	200	100	200	200	200	900
国語	「国語」	} から1																												
地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」																													
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理, 政治・経済」																													
数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1																													
理科	「物理」、「化学」、「生物」から2																													
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1																													
教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計																								
配点	200	100	200	200	200	900																								
出願期間	令和3年(2021年)1月18日(月)～令和3年(2021年)1月22日(金)【郵送、必着】																													
選抜期日	本学試験場での試験は実施しません。																													
合格者発表日	令和3年(2021年)2月16日(火) 令和3年(2021年)2月22日(月) (大学入学共通テスト特例追試験受験者)																													
その他	<p>・令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。 そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。 最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトです必ず確認をしてください。 ・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。</p>																													

3. 帰国生徒選抜、外国学校出身者選抜

(1) 教育学部 帰国生徒選抜

※灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて配慮した事項です。

実施学部 学科名等	教育学部 学校教員養成課程																							
募集人員	若干名																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="339 477 890 510">コース</th> <th data-bbox="890 477 1193 510">専門領域</th> <th data-bbox="1193 477 1406 510">募集人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="339 510 890 678" rowspan="5">言語・文化・社会系教育コース</td> <td data-bbox="890 510 1193 544">国語</td> <td data-bbox="1193 510 1406 544" rowspan="10">若干名※</td> </tr> <tr> <td data-bbox="890 544 1193 577">社会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="890 577 1193 611">英語</td> </tr> <tr> <td data-bbox="890 611 1193 645">日本語教育</td> </tr> <tr> <td data-bbox="890 645 1193 678">教育学</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 678 890 813" rowspan="4">自然・生活系教育コース</td> <td data-bbox="890 678 1193 712">数学</td> </tr> <tr> <td data-bbox="890 712 1193 745">理科</td> </tr> <tr> <td data-bbox="890 745 1193 779">技術</td> </tr> <tr> <td data-bbox="890 779 1193 813">家庭科</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 813 890 992" rowspan="5">芸術・身体・発達支援系教育コース</td> <td data-bbox="890 813 1193 846">音楽</td> </tr> <tr> <td data-bbox="890 846 1193 880">美術</td> </tr> <tr> <td data-bbox="890 880 1193 913">保健体育</td> </tr> <tr> <td data-bbox="890 913 1193 947">心理学</td> </tr> <tr> <td data-bbox="890 947 1193 992">特別支援教育</td> <td data-bbox="1193 947 1406 992">若干名</td> </tr> </tbody> </table>	コース	専門領域	募集人員	言語・文化・社会系教育コース	国語	若干名※	社会	英語	日本語教育	教育学	自然・生活系教育コース	数学	理科	技術	家庭科	芸術・身体・発達支援系教育コース	音楽	美術	保健体育	心理学	特別支援教育	若干名	
コース	専門領域	募集人員																						
言語・文化・社会系教育コース	国語	若干名※																						
	社会																							
	英語																							
	日本語教育																							
	教育学																							
自然・生活系教育コース	数学																							
	理科																							
	技術																							
	家庭科																							
芸術・身体・発達支援系教育コース	音楽																							
	美術																							
	保健体育																							
	心理学																							
	特別支援教育	若干名																						
※入学者は、第1学年の10月頃までにコース及び専門領域を決定します。																								
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により外国の学校教育を受けた者で、次の(1)～(4)のいずれかに該当する者</p> <p>(1)外国において学校教育における12年の課程を平成31年(2019年)4月1日から令和3年(2021年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者で、外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けた者</p> <p>(2)外国の教育制度に基づいて外国に設置された学校から、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入し、令和2年(2020年)4月から、令和3年(2021年)3月までに卒業又は卒業見込みの者で、次の①・②のどちらかを満たす者</p> <p>①外国の学校教育制度に基づく中学校ないし高等学校に通算3年以上在籍した者</p> <p>②外国の学校教育制度に基づく高等学校に学校暦2年以上継続して在籍した者</p> <p>(3)外国において次の(a)～(d)のいずれかを平成31年(2019年)1月1日から令和2年(2020年)12月31日に授与された者</p> <p>(a)スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>(b)ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>(c)フランス共和国において大学入学資格として認められている普通バカロレア資格</p> <p>(d)グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスド・レベル資格(GCEA レベル資格)[3科目以上合格(評価E以上)していること]</p> <p>(4)外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成31年(2019年)4月1日から令和3年(2021年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みであり、最終学年を含め学校暦2年以上継続して学校教育を受けた者</p> <p>注1:「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者(出願要件(3)又は(4)を満たす者は除く)については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、出願期間前に照会してください。</p> <p>注2:外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p> <p>注3:本学他学部の帰国生徒選抜(外国学校出身者選抜を含む)との併願は認めません。</p> <p>注4:志願者本人の事由により、保護者の帯同なしに2年以上海外に滞在する者は出願を認めません。</p>																							

	注5:(2)についてのみ、新型コロナウイルス感染拡大の影響で当初の予定を繰り上げて帰国し、出願要件を満たせなくなった場合に限り、出願期間前にご相談ください。
選抜方法	<p>1. 入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び個別学力検査等を免除し、小論文及び個人面接による試験に相当する課題の提出物(課題論文や動画など)、学業成績証明書、志願理由書及び自己推薦書の内容を総合的に評価して行います。</p> <p>2. 試験内容、提出方法等の詳細については「令和3年度 教育学部 学校教員養成課程 帰国生徒選抜学生募集要項」(9月上旬公表予定)で確認してください。小論文及び個人面接による試験に相当する課題については、71ページを参照してください。</p>
出願期間	令和2年(2020年)10月26日(月)～令和2年(2020年)10月30日(金)【郵送、必着】
選抜期日	本学試験場での試験は実施しません。
合格者発表日	令和2年(2020年)12月21日(月)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教員養成課程における修学上の留意事項については、本学のウェブサイトを確認してください。 https://www.edu.ynu.ac.jp/campus/attention ・令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。 そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。 最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトですべて必ず確認をしてください。 ・入学志願者が外国にいる場合は、必ず国内の連絡者を通じて出願してください。 ・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。

(2) 経済学部 外国学校出身者選抜

※灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の特例です。

実施学部 学科名等	経済学部 経済学科
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の基礎資格を有し、かつ、基礎資格に対応する要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】</p> <p>外国の学校教育を受けた者で、次のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程(※1)を平成31年(2019年)4月1日から、令和3年(2021年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者 2. 地理的場所的に外国において次の資格のいずれかを平成31年・令和元年(2019年)又は令和2年(2020年)に授与された者 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEAレベル資格)[3科目以上合格(評価E以上)](※2) 3. 地理的場所的に外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成31年(2019年)4月1日から令和3年(2021年)3月31日までに卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者 <p>【要件】</p> <p>【基礎資格1.】により出願する場合は、次の1及び2に該当する者</p> <p>【基礎資格3.】により出願する場合は、次の2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けていること <p>なお、外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとみなしません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 中等教育修了時に課される国家試験等の統一試験又はこれに準ずる試験を受験できる国の学校を修了あるいは修了見込みの者は、その試験を受験していること(当該試験が大学入学資格試験あるいは中等教育修了試験である場合には、その試験に合格していなければなりません。) <p>「国家試験等の統一試験又はこれに準ずる試験」についての詳細は次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アメリカ合衆国の教育制度によるもの 次の試験を全て受験している者(片方のみ受験では無効) ・SAT(Reasoning Test): Sat Essayの提出は不要。 ・TOEFL(Test of English as a Foreign Language)iBT : Special Home Editionを含む。Test Dateスコアを採用。 ② イギリスの教育制度によるもの ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)[2科目合格(評価E以上)]を有する者(※2) ③ それ以外の国の教育制度によるもの その国に統一試験が存在する場合には、その統一試験を受験している者 その国に統一試験が存在しないか、出願期間内に統一試験の結果を提出できない場合には、①又は②を受験すること <p>※1: 「外国において学校教育における12年の課程」とは、最終学校が地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者(「【基礎資格】2」、「【基礎資格】3」のいずれかを満たす者は除く)については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会すること。</p> <p>※2: ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)[2科目合格(評価E以上)]を有する者は、「【基礎資格】1」を有し、「【要件】1」を満たすことにより出願資格を有する。</p> <p>(注1) 本学他学部の帰国生徒選抜との併願は認めません。 (注2) 希望する教育プログラム(通常又はGBEEP(14ページ参照))を出願時に選択することになります。</p>

選抜方法	<p>入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜の2段階で行います。</p> <p>第1次選抜: 出願書類(統一試験等成績評価証明書、出身学校成績証明書)により選抜を行います。</p> <p>第2次選抜: 第1次選抜合格者に対し、小論文及び面接を課して選抜を行います。</p> <p>小論文及び面接の内容については、71ページを参照してください。</p>
出願期間	令和2年(2020年) 9月14日(月)～令和2年(2020年) 9月18日(金)【郵送、必着】
選抜期日	<p>令和2年(2020年)11月16日(月)</p> <p>出願書類による第1次選抜の結果は、令和2年(2020年)11月6日(金)付けで本人に通知します。</p>
合格者発表日	令和2年(2020年)12月15日(火)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。 そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。 最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトで必ず確認をしてください。 ・<u>入学志願者が外国にいる場合は、必ず国内の連絡者を通じて出願してください。</u> ・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。

(3) 経営学部 帰国生徒選抜

実施学部 学科名等	経営学部 経営学科
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の1～4のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を平成31年(2019年)年4月1日から令和3年(2021年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者で、最終学年を含めて学校暦2年以上継続してその国の正規の教育制度に基づく高等学校に在学した者 2. 外国において学校暦2年以上継続して外国の教育制度に基づく高等学校に在籍し、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入学した者で、令和2年(2020年)4月から令和3年(2021年)3月までに卒業又は卒業見込みの者 3. 外国において外国の教育制度に基づく高等学校に学校暦2年以上在学し、次の資格のいずれかを平成31年・令和元年(2019年)又は令和2年(2020年)に授与された者(ただし、帰国後2年未満であること) <ol style="list-style-type: none"> (1)スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2)ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3)フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4)グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)[3科目以上合格(評価E以上)していること] 4. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設にて、高等学校に対応する課程で学校暦2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程を平成31年(2019年)4月1日から令和3年(2021年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者 <p>(注1) 出願要件を備えた者でも、本学部帰国生徒選抜への受験機会は1回とし、過去に受験した者の再受験は認めません。</p> <p>(注2) 本学他学部の帰国生徒選抜(外国学校出身者選抜を含む。)との併願は認めません。</p> <p>(注3) 出願時に希望する教育プログラム(一般又は ^{ジョブーフ}GBEEP(14ページ参照))を選択することになります。</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、小論文及び面接による試験と志望理由書・成績証明書を総合して行います。小論文及び面接の内容については、71ページを参照してください。</p>
出願期間	令和2年(2020年)10月21日(水)～令和2年(2020年)10月28日(水)【郵送、必着】
選抜期日	令和2年(2020年)12月7日(月)
合格者発表日	令和2年(2020年)12月17日(木)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度(2021年度)の入学選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。そのため、この入学選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトですべて確認をしてください。 ・入学志願者が外国にいる場合は、必ず国内の連絡者を通じて出願してください。 ・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。

(4) 都市科学部 帰国生徒選抜

実施学部 学科名等	都市科学部 都市社会共生学科
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の(1)～(4)のいずれかに該当する者</p> <p>(1)外国において学校教育における12年の課程を平成31年(2019年)4月1日から令和3年(2021年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者で、外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けた者</p> <p>(2)外国の教育制度に基づいて外国に設置された学校から、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入し、令和2年(2020年)4月から令和3年(2021年)3月までに卒業又は卒業見込みの者で、次の①・②のどちらかを満たす者</p> <p>① 外国の学校教育制度に基づく中学校ないし高等学校に通算3年以上在籍した者</p> <p>② 外国の学校教育制度に基づく高等学校に学校暦2年以上継続して在籍した者</p> <p>(3)外国において次の(a)～(d)のいずれかを平成31年・令和元年(2019年)又は令和2年(2020年)に授与された者</p> <p>(a)スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>(b)ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>(c)フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(d)グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格) [3科目以上合格(評価E以上)していること]</p> <p>(4)外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC, ACSI, CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成31年(2019年)4月1日から令和3年(2021年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者。</p> <p>注1:「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者(2 出願要件(3)又は(4)を満たす者は除く)については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会してください。</p> <p>注2:外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p> <p>注3:本学他学部また都市科学部他学科の帰国生徒選抜(外国学校出身者選抜を含む)との併願は認めません。</p>
選抜方法	<p>【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行います。</p> <p>1. 特色活動説明書及び学習計画書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色活動説明書(本学様式):これまで自分がおこなってきた特色ある活動について、その内容と意義や魅力を、600字程度で具体的に説明してください。文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。 ・学習計画書(本学様式):以下の点について、600字程度で記述してください。 <ul style="list-style-type: none"> ①都市・社会・文化の領域で特に興味を持っていることは何か ②その関心を大学でどのように深め、社会や世界でどのように活かしていきたいか 文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。 <p>2. 成績証明書等 都市社会共生学科への適性を判断するために使用します。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、文章実技+面接試験による選抜を行う。文化的・社会的現象に関するテーマについての基本的な理解、論理的思考力及び表現力を問う内容で行います。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜の結果により最終合格者を決定します。</p> <p>※大学入学共通テストは課しません。</p>

出願期間	令和2年(2020年)9月18日(金)～令和2年(2020年)9月24日(木)【郵送、必着】
選抜期日	第1次選抜期日 : 令和2年(2020年)10月17日(土) 第2次選抜期日 : 令和2年(2020年)11月14日(土)
合格者発表日	第1次選抜合格者発表 : 令和2年(2020年)10月28日(水) 最終合格者発表 : 令和2年(2020年)12月 2日(水)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。 そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。 最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトで必ず確認をしてください。 ・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。

実施学部 学科名等	都市科学部 建築学科
募集人員	2名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の(1)～(4)のいずれかに該当する者</p> <p>(1)外国において学校教育における12年の課程を平成31年(2019年)4月1日から令和3年(2021年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者で、外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けた者</p> <p>(2)外国の教育制度に基づいて外国に設置された学校から、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入し、令和2年(2020年)4月から令和3年(2021年)3月までに卒業又は卒業見込みの者で、次の①・②のどちらかを満たす者</p> <p>① 外国の学校教育制度に基づく中学校ないし高等学校に通算3年以上在籍した者</p> <p>② 外国の学校教育制度に基づく高等学校に学校暦2年以上継続して在籍した者</p> <p>(3)外国において次の(a)～(d)のいずれかを平成31年・令和元年(2019年)又は令和2年(2020年)に授与された者</p> <p>(a)スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>(b)ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>(c)フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(d)グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)</p> <p>[3科目以上合格(評価E以上)していること]</p> <p>(4)外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC, ACSI, CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成31年(2019年)4月1日から令和3年(2021年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者。</p> <p>注1:「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者(2 出願要件(3)又は(4)を満たす者は除く)については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会してください。</p> <p>注2:外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p> <p>注3:本学他学部また都市科学部他学科の帰国生徒選抜(外国学校出身者選抜を含む)との併願は認めません。</p>
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類審査・実技試験・小論文による選抜を行います。以下により、建築学科への熱意と適性の評価を行います。</p> <p>1. 自己推薦書(本学様式) 海外での生活経験をふまえて、建築学科に対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。図を入れても結構ですが、字数に含みません。文字・図は手書きが条件です。</p> <p>2. 調査書等 建築学科への適性を判断するために使用します。</p> <p>3. 実技試験及び小論文 自己推薦書による適性及び能力を判断するために、実技試験(造形に関する思考力・表現力の検査)及び小論文を課します。 建築学科のウェブサイト、出題例を公開していますので、参考にしてください。 (本学ウェブサイト https://www.ynu-arc.jp/admission/)</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、面接試験(口頭試問による論理的思考力・理解力・表現力の検査)を課します。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜の結果により最終合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>※大学入学共通テストは課しません。</p>
出願期間	令和2年(2020年)9月18日(金)～令和2年(2020年)9月24日(木)【郵送、必着】

選抜期日	第1次選抜期日 :令和2年(2020年)10月17日(土) 第2次選抜期日 :令和2年(2020年)11月14日(土)
合格者発表日	第1次選抜合格者発表:令和2年(2020年)10月28日(水) 最終合格者発表:令和2年(2020年)12月2日(水)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。 そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/) にてお知らせします。 最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトで必ず確認をしてください。 ・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。

4. 社会人選抜

※灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の特例です。

実施学部 学科名等	経営学部 経営学科 社会人教育プログラム
募集人員	4名
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 大学入学資格を有している者(高等学校若しくは中等教育学校卒業見込みの者は除く。)</p> <p>【要件】 次の1から3のすべてに該当する者</p> <p>1. 令和3年(2021年)3月31日現在で、年齢が20歳に達し、現に就職し、入学後も就業を続ける意思がある者 (注)就職には、アルバイト、パート等を含み、労働時間が週平均20時間以上のものに限ります。</p> <p>2. 平成30年(2018年)11月以降に実施されたTOEIC L&R又はTOEFL iBT (Special Home Edition を含む)を受験した者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>①TOEIC L&R の得点が443点以上 ②TOEFL iBT の得点が45点以上 (注)TOEIC-IP(団体特別受験制度)及び TOEFL-ITP(団体向けテスト)による得点は認めません。 TOEFL iBT は Test Date スコアを採用します。</p> <p>3. 合格した場合は入学の確約のできる者</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、小論文、面接、志望理由書、在職証明書、出身学校の調査書を総合して行います。なお、大学入学共通テストを免除します。</p> <p>小論文及び面接の内容については、71ページを参照してください。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>
出願期間	令和2年(2020年)11月 2日(月)～令和2年(2020年)11月 9日(月)【郵送、必着】
選抜期日	令和2年(2020年)12月 7日(月)
合格者発表日	令和2年(2020年)12月17日(木)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト (https://www.ynu.ac.jp/)にてお知らせします。最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトです必ず確認をしてください。 学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。

5. 特別選抜における小論文及び面接等の内容

※灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて配慮した事項です。

区分	実施学部	小論文・文章実技	面接・口頭試問	
学校推薦型選抜	教育学部	<p>小論文試験に相当する課題の提出物（課題論文など）により試験を行います。主として教育や人間に関する日本語の文章や資料を素材として、理解力、思考力、表現力を評価します。</p>	<p>教員になるための意欲と資質をみるため、個人面接による試験に相当する課題の提出物（動画など）及び提出書類の内容を基に総合的に評価します。</p> <p>全国卒の社会専門領域志願者は、以下の点にも注意してください。</p> <p>社会専門領域志願者に対して、指定文献＜藤原辰史『給食の歴史』岩波書店 2018 年＞に関する提出物を求めます。詳細については「令和3年度 教育学部 学校教員養成課程 学校推薦型選抜学生募集要項」を確認してください。</p> <p>他の専門領域については、必ず同学生募集要項を確認してください。</p>	
	経営学部	<p>経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。</p>	<p>複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。</p>	
帰国生徒・外国学校出身者選抜	教育学部	<p>小論文試験に相当する課題の提出物（課題論文など）により試験を行います。主として教育や人間に関する日本語の文章や資料を素材として、理解力、思考力、表現力を評価します。</p>	<p>教員になるための意欲と資質をみるため、個人面接による試験に相当する課題の提出物（動画など）及び提出書類の内容を基に総合的に評価します。</p>	
	経済学部	<p>社会科学に関するテーマについての基本的な理解、見解の独創性・論理性、論文の構成力・表現力等をもって評価します。</p>	<p>複数の面接員による個人面接で、外国学校で学んだことや海外体験、そこでの勉強の達成度をどのように自己評価するか、大学で何を学びたいのか、その対象に対する基礎知識と問題解決能力などを評価します。</p> <p>GBEEP を志望する場合は、英語など学習経験のある外国語による質疑応答も行います。</p> <p>統一試験等成績評価証明書及び出身学校成績証明書の評価も含まれます。</p>	
	経営学部	<p>経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。</p>	<p>複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。</p> <p>GBEEP を志望する場合は、英語など学習経験のある外国語による質疑応答も行います。</p>	
	都市科学部	都市社会共生学科	<p>文化的・社会的現象に関するテーマについての基本的な理解、論理的思考力及び表現力を評価します。</p>	<p>複数の面接員による個人面接で、志望動機や学習計画、海外体験と合わせて文章実技の内容についても質疑を行い、総合的な思考力を評価します。</p>
		建築学科	<p>建築を中心としたテーマに対する思考力、表現力、独創性・論理性、および、造形に関する思考力・表現力を評価します。</p>	<p>複数の面接員による個人面接を行います。海外で学んだこと、大学で学びたいことと海外経験の活かし方の関わりに対する考え、および、口頭試問による論理的思考力・理解力・表現力を評価します。</p>
社会人選抜	経営学部	<p>経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。</p>	<p>複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。</p>	

V 私費外国人留学生等の入学者選抜

本学では、私費外国人留学生の入学者選抜を、YGEP-N1（渡日入試）、YGEP-N1（渡日前入試）及びYGEP-N2（渡日前入試）として実施します。詳細については、学部別に作成される募集要項を参照してください。

YGEP-N1：正式名称は横浜グローバル教育プログラム。来日して日本語を学んできた外国人、又は来日前にある程度日本語を学んだ外国人で日本語能力試験N1相当の者を対象とした入試です。日本語能力試験の受験は必要ありません。入学後は日本人学生と一緒に通常カリキュラムを履修します。
YGEP-N2：正式名称は横浜グローバル教育プログラム。来日前に多少日本語を学んだ外国人で日本語能力試験N2相当の者を対象とした渡日前入試です。ただし、日本語能力試験の受験は必要ありません。入学後、1年次では日本語と日本事情を重点的に履修、2年次以降で日本人と一緒に専門分野を学習します。

学部名	学科名	募集人員		
		YGEP-N1（渡日入試）	YGEP-N1（渡日前入試）	YGEP-N2（渡日前入試）
経済学部	経済学科	8名 〔一般6名 GBEEP2名〕	—	—
経営学部	経営学科	8名 〔一般6名 GBEEP2名〕	—	—
理工学部	機械・材料・海洋系学科	2名		—
	化学・生命系学科	2名	—	—
	数物・電子情報系学科	2名	—	—
都市科学部	都市社会共生学科	2名	—	—
	建築学科	2名		—
	都市基盤学科	8名		—
	環境リスク共生学科	6名		—

注：選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

1. YGEP-N1（渡日入試）

(1) 出願要件

日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たすもの

【基礎資格】

次のいずれかに該当する者

- 外国において学校教育における12年の課程（※）を修了した者及び令和3年(2021年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 次の資格のいずれかを授与された者
 - スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEAレベル資格)〔3科目以上合格(評価E以上)していること〕
- 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び令和3年(2021年)3月31日までに修了する見込みの者

※外国において学校教育における12年の課程とは地理的、場所的に外国で原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、修了により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者（基礎資格2～3のいずれかに該当する者は除く。）については、本規定によって出願が認められない場合があるので早めに照会してください。

【要件】

次の1及び2に該当し、かつ、3にも該当する者

- 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者、若しくは取得できる者
- 令和2年(2020年)11月実施の日本留学試験を受験し、かつ各学部で指定する以下の要件(別表)を満たしている者
- 各学部が指定するTOEFL、TOEIC又はIELTSを受験し、かつ各学部で指定する英語科目への対応等の要件(別表)を満たしている者

注1 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この項の選抜に該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格2】に該当する者は出願できます。

- 注2 経済学部または経営学部の志願者は、出願時に希望する教育プログラム（一般又はG B E E P（14ページ参照））を選択することになります。
- 注3 理工学部志願者は、出願時に志望する教育プログラムを選択する必要があります。
- 注4 在留資格「留学」を取得するにあたっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。

別表 日本留学試験等の受験を要する科目等

◎→必修 ○→選択

学部・学科	受験を要する 教科・科目等	日本留学試験							要件	英語科目への対応等			
		の出題 指定 言語	日本語	理 科			数 学						
				物 理	化 学	生 物	総 合 科 目	コ ー ス 1			コ ー ス 2	ど ち ら ど も	
経済学部	英語	◎					◎	◎		合計得点が8割以上の者が出願できる (注)合計得点には、日本語の「記述」の得点は含まない	平成31年(2019年)1月以降に実施されたTOEFL iBT、TOEIC L&R又はIELTS(Academic Module)を受験していること。 TOEFL iBTは Special Home Edition を含みます 。また、Test Date スコアを採用します。		
経営学部	日本語	◎		○	○	○			◎	理科(物理、化学、生物)から2科目又は総合科目を選択	合計得点が8割以上の者が出願できる	平成31年(2019年)1月以降に実施されたTOEFL iBT、TOEIC L&R又はIELTS(Academic Module)を受験した者で、次の①～③のいずれかに該当する者が出願できる。 ①TOEFL iBTの得点が45点以上 TOEFL iBTは Special Home Edition を含みます 。また、Test Date スコアを採用します。 ②TOEIC L&Rの得点が443点以上 ③IELTS(Academic Module)のオーバーオール・バンド・スコアが4.0以上	
理工学部	機械・材料・海洋系学科	日本語	◎	◎	◎						◎		
	化学・生命系学科	日本語	◎		○	◎	○				◎		平成31年(2019年)1月以降に実施されたTOEFL iBT、TOEIC L&R又はIELTS(Academic Module)を受験した者。 TOEFL iBTは Special Home Edition を含みます 。また、Test Date スコアを採用します。
	数物・電子情報系学科	日本語	◎	◎	◎						◎		
都市科学部	都市社会共生学科	どちらも可	◎						◎		◎		
	建築学科 都市基盤学科	日本語	◎		◎	○	○				◎		平成30年(2018年)1月以降に実施されたTOEFL iBT、TOEIC L&R又はIELTS(Academic Module)を受験した者。 TOEFL iBTは Special Home Edition を含みます 。また、Test Date スコアを採用します。
	環境リスク共生学科	日本語	◎		○	○	○				◎		

- 注1 日本留学試験については、下記へ問い合わせください。
独立行政法人日本学生支援機構（〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL.03-6407-7457）
- 注2 YGEP-N1（渡日前入試）は75～78ページ、YGEP-N2（渡日前入試）は79～80ページ参照
- 注3 灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の特例です。

(2) 出願期間

学部名	出願期間	受付方法
経済学部	令和2年(2020年)12月2日(水)～12月8日(火)	窓口受付及び郵送受付
経営学部	令和3年(2021年)1月19日(火)～1月22日(金)	窓口受付及び郵送受付
理工学部	令和3年(2021年)1月18日(月)～1月22日(金)	郵送受付
都市科学部	令和2年(2020年)11月5日(木)～11月11日(水)	窓口受付及び郵送受付

- 注1. 学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。
- 注2. 窓口受付で出願する場合は**志願者本人が直接出願書類を持参**し、出願期間内に提出してください。郵送受付にて出願をする場合は、各学部の出願期間最終日までに横浜国立大学必着です。
- 注3. TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績証明は**出願書類と同時に提出しなければなりません**。
 なお、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績証明書は受験してから交付まで相当期間を要するので、**出願期間に留意のうえ、早めに準備してください。出願期間内に必着です**。
- 注4. 日本留学試験の成績通知書は、**令和2年(2020年)11月実施分**の成績通知書を提出してください。
- 注5. 令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。
 そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。
 また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト(<https://www.ynu.ac.jp/>)にてお知らせします。
 最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトです必ず確認をしてください。

(3) 選抜方法

入学者の選抜は、個別学力検査等**(面接・小論文)**、日本留学試験及び成績証明書によって行います。
 なお、各学部の選抜方法は以下のとおりです。

学部名	事項 大学入学 共通テスト	試験科目等 (個別学力 検査・面接・小論文)	日本留学 試験	試験日
経済学部	課さない	面接 (2段階選抜を実施)	重視する	令和3年(2021年)2月25日(木)
経営学部		小論文及び面接 (2段階選抜を実施)	重視する	令和3年(2021年)2月26日(金)
理工学部		面接	重視する	令和3年(2021年)2月26日(金)
都市科学部		面接	重視する	令和2年(2020年)12月25日(金)

- 注1. 経済学部は、日本留学試験およびTOEFL、TOEIC又はIELTSの成績により、第1段階選抜を行い、その第1段階選抜合格者に対し、集団面接を行います。
 なお、GBEEPを志望する場合は英語など学習経験のある外国語による質疑応答も行います。
- 注2. 経営学部は、日本留学試験およびTOEFL、TOEIC又はIELTSの成績により、第1段階選抜を行い、その第1段階選抜合格者に対し、小論文試験及び複数の教員による個人面接試験を行います。
 なお、GBEEPを志望する場合は英語など学習経験のある外国語による質疑応答も行います。
- 注3. 理工学部については、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績を重視します。
- 注4. 都市科学部については、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績を重視します。

(4) 合格者発表日

学部名	合格者発表日
経済学部	第1段階選抜：令和3年(2021年)2月12日(金) 第2段階選抜：令和3年(2021年)3月7日(日)
経営学部	第1段階選抜：令和3年(2021年)2月12日(金) 第2段階選抜：令和3年(2021年)3月7日(日)
理工学部	令和3年(2021年)3月7日(日)
都市科学部	令和3年(2021年)1月15日(金)

2. YGEP-N1(渡日前入試)

(1)理工学部

※灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の特例です。

実施学部 学科名等	理工学部 機械・材料・海洋系学科(材料工学教育プログラム、海洋空間のシステムデザイン教育プログラム)		
募集人員	機械・材料・海洋系学科で行うYGEP-N1(渡日前入試)と合わせて 2名		
出願要件	<p>日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年(2021年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 次の資格のいずれかを授与された者 <ol style="list-style-type: none"> (1)スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2)ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3)フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4)グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスド・レベル資格(GCEAレベル資格)[3科目以上合格(評価E以上)していること] 3. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び令和3年(2021年)3月31日までに修了する見込みの者 <p>※外国において学校教育における12年の課程とは、地理的場所に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。</p> <p>【要件】 次の1~4を全て満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する若しくは取得できる者 2. 令和元年(2019年)11月実施の日本留学試験を日本国外で受験し、以下の要件を満たし、かつ試験の合計得点が8割(850点満点中680点)以上である者(合計得点は「日本語」の「記述」を含めた点数) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>出題言語: 日本語</td> </tr> <tr> <td>受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科 必修 物理と化学</td> </tr> </table> 3. 平成30年(2018年)9月以降に実施された①~③のいずれかの成績証明書を提出できる者 <ol style="list-style-type: none"> ①TOEFL iBT (Special Home Edition を含みます)。Test Date スコアを採用します。) ②TOEIC L&R、③IELTS(Academic Module) 4. 日本国外に在住している者 <p>注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜に該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格2】に該当する者は出願できます。 2. 志願者は出願時に志望する教育プログラムを選択する必要があります。 	出題言語: 日本語	受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科 必修 物理と化学
出題言語: 日本語			
受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科 必修 物理と化学			
選抜方法	<p>入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験(募集要項参照)の成績、所定の英語能力を有することを証明する成績証明書、ビデオレター(日本語)の内容、インターネット面接等を総合的に評価して行います。</p> <p>インターネット面接では、現地インターネット環境等により本人確認が困難で改善の余地がない場合、面接を無効とすることがあります。</p> <p>インターネット面接は Google Hangouts や Skype 等のサービスを利用して行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できる必要があります。インターネット面接は 30 分以内で日本語により行います。志望動機に関する質疑の他、数学・理科に関する基礎的な学力を問う場合があります。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>		
出願期間	令和2年(2020年)8月31日(月)~令和2年(2020年)9月4日(金) 【郵送、必着】		
選抜期日	令和2年(2020年)10月8日(木)		
合格者発表日	令和2年(2020年)10月27日(火)		
その他	<p>・令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。</p> <p>そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト(https://www.ynu.ac.jp/)にてお知らせします。</p> <p>最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトで必ず確認してください。</p> <p>・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。</p>		

(2) 都市科学部

※灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の特例です。

実施学部 学科名等	都市科学部 建築学科			
募集人員	建築学科で行うYGEP-N1(渡日入試)と合わせて 2名			
出願要件	<p>日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年(2021年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 次の資格のいずれかを授与された者 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEAレベル資格)[3科目以上合格(評価E以上)していること] 3. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び令和3年(2021年)3月31日までに修了する見込みの者 <p>※外国において学校教育における12年の課程とは、地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。</p> <p>【要件】 次の1～4を全て満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する若しくは取得できる者 2. 令和2年(2020年)11月実施の日本留学試験を日本国外で受験し、かつ以下の要件を満たしている者 <table border="1" data-bbox="351 1030 1244 1131"> <tr> <td>出題言語: 日本語</td> </tr> <tr> <td>受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科 必修 物理</td> </tr> <tr> <td>選択 化学又は生物から1科目</td> </tr> </table> 3. 平成30年(2018年)11月以降に実施された①～③のいずれかの成績証明書を提出できる者 <ol style="list-style-type: none"> ① TOEFL iBT (Special Home Edition を含みます。Test Date スコアを採用します。) ② TOEIC L&R、③ IELTS(Academic Module) 4. 日本国外に在住している者 <p>注意事項 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜に該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格2】に該当する者は出願できます。</p>	出題言語: 日本語	受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科 必修 物理	選択 化学又は生物から1科目
出題言語: 日本語				
受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科 必修 物理				
選択 化学又は生物から1科目				
選抜方法	<p>入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL iBT、TOEIC L&R又はIELTS(Academic Module)の成績証明書、ビデオレター(日本語)の内容、志望理由書、インターネット面接等を総合的に評価して行う。</p> <p>インターネット面接では、現地インターネット環境等により本人確認が困難で改善の余地がない場合、面接を無効とすることがあります。</p> <p>インターネット面接はインターネットのGoogle Hangouts や Skype 等のサービスを利用して行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できる必要があります。インターネット面接は30分以内で日本語により行います。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>			
出願期間	令和2年(2020年)11月 5日(木)～令和2年(2020年)11月11日(水) 【郵送、必着】			
選抜期日	令和2年(2020年)12月14日(月)～令和2年(2020年)12月25日(金)			
合格者発表日	令和3年(2021年) 1月15日(金)			
その他	<p>・令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。</p> <p>そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト(https://www.ynu.ac.jp/)にてお知らせします。</p> <p>最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトです必ず確認をしてください。</p> <p>・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。</p>			

実施学部 学科名等	都市科学部 都市基盤学科			
募集人員	都市基盤学科で行うYGEP-N1(渡日入試)、YGEP-N2(渡日前入試)と合わせて 8名			
出願要件	<p>日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年(2021年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 次の資格のいずれかを授与された者 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスド・レベル資格(GCEAレベル資格)[3科目以上合格(評価E以上)していること] 3. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び令和3年(2021年)3月31日までに修了する見込みの者 <p>※外国において学校教育における12年の課程とは、地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。</p> <p>【要件】 次の1～4を全て満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する若しくは取得できる者 2. 令和2年(2020年)11月実施の日本留学試験を日本国外で受験し、かつ以下の要件を満たしている者 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>出題言語: 日本語</td> </tr> <tr> <td>受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科 <input checked="" type="checkbox"/> 必修 物理</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 選択 化学又は生物から1科目</td> </tr> </table> 3. 平成30年(2018年)11月以降に実施された①～③のいずれかの成績証明書を提出できる者 <ol style="list-style-type: none"> ① TOEFL iBT (Special Home Edition を含みます Test Date スコアを採用します。) ② TOEIC L&R, ③ IELTS(Academic Module) 4. 日本国外に在住している者 <p>注意事項 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜に該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格2】に該当する者は出願できます。</p>	出題言語: 日本語	受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科 <input checked="" type="checkbox"/> 必修 物理	<input type="checkbox"/> 選択 化学又は生物から1科目
出題言語: 日本語				
受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科 <input checked="" type="checkbox"/> 必修 物理				
<input type="checkbox"/> 選択 化学又は生物から1科目				
選抜方法	<p>入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL iBT、TOEIC L&R又はIELTS(Academic Module)の成績証明書、ビデオレター(日本語)の内容、インターネット面接等を総合的に評価して行う。</p> <p>インターネット面接では、現地インターネット環境等により本人確認が困難で改善の余地がない場合、面接を無効とすることがあります。</p> <p>インターネット面接はインターネットのGoogle HangoutsやSkype等のサービスを利用して行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できる必要があります。インターネット面接は30分以内で日本語により行います。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>			
出願期間	令和2年(2020年)11月 5日(木)～令和2年(2020年)11月11日(水) 【郵送、必着】			
選抜期日	令和2年(2020年)12月14日(月)～令和2年(2020年)12月25日(金)			
合格者発表日	令和3年(2021年) 1月15日(金)			
その他	<p>・令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。</p> <p>そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト(https://www.ynu.ac.jp/)にてお知らせします。</p> <p>最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトですべて確認をしてください。</p> <p>・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。</p>			

実施学部 学科名等	都市科学部 環境リスク共生学科
募集人員	環境リスク共生学科で行うYGEP-N1(渡日入試)、YGEP-N2(渡日前入試)と合わせて 6名
出願要件	<p>日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年(2021年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 次の資格のいずれかを授与された者 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスド・レベル資格(GCEAレベル資格)[3科目以上合格(評価E以上)していること] 3. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び令和3年(2021年)3月31日までに修了する見込みの者 <p>※外国において学校教育における12年の課程とは、地理的場所に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。</p> <p>【要件】 次の1～4を全て満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する若しくは取得できる者 2. 令和2年(2020年)11月実施の日本留学試験を日本国外で受験し、かつ以下の要件を満たしている者 出題言語: 日本語 受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科 【選択】 物理、化学、生物から2科目 3. 平成30年(2018年)11月以降に実施された①～③のいずれかの成績証明書を提出できる者 ①TOEFL iBT (Special Home Edition を含みます Test Date スコアを採用します。) ②TOEIC L&R、③IELTS(Academic Module) 4. 日本国外に在住している者 <p>注意事項 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜に該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格2】に該当する者は出願できます。</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL iBT、TOEIC L&R又はIELTS(Academic Module)の成績証明書、ビデオレター(日本語)の内容、インターネット面接等を総合的に評価して行う。</p> <p>インターネット面接では、現地インターネット環境等により本人確認が困難で改善の余地がない場合、面接を無効とすることがあります。</p> <p>インターネット面接はインターネットのGoogle Hangouts や Skype 等のサービスを利用して行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できる必要があります。インターネット面接は30分以内で日本語により行います。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>
出願期間	令和2年(2020年)11月 5日(木)～令和2年(2020年)11月11日(水) 【郵送、必着】
選抜期日	令和2年(2020年)12月14日(月)～令和2年(2020年)12月25日(金)
合格者発表日	令和3年(2021年) 1月15日(金)
その他	<p>・令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。</p> <p>そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト(https://www.ynu.ac.jp/)にてお知らせします。</p> <p>最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトですべて確認してください。</p> <p>・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。</p>

3. YGEP-N2(渡日前入試)

※灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の特例です。

実施学部 学科名等	都市科学部 都市基盤学科						
募集人員	都市基盤学科で行うYGEP-N1(渡日入試)、YGEP-N1(渡日前入試)と合わせて 8名						
出願要件	<p>日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年(2021年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 次の資格のいずれかを授与された者 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEALレベル資格)[3科目以上合格(評価E以上)していること] 3. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び令和3年(2021年)3月31日までに修了する見込みの者 <p>※外国において学校教育における12年の課程とは、地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。</p> <p>【要件】 次の1~4を全て満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する若しくは取得できる者 2. 令和2年(2020年)11月実施の日本留学試験を日本国外で受験し、かつ以下の要件を満たしている者 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>出題言語: 日本語</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 必修 物理</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 選択 化学又は生物から1科目</td> </tr> </table> 3. 平成30年(2018年)11月以降に実施された①~③のいずれかの成績証明書を提出できる者 <ol style="list-style-type: none"> ① TOEFL iBT (Special Home Edition を含みます Test Date スコアを採用します。) ② TOEIC L&R、③ IELTS(Academic Module) 4. 日本国外に在住している者 <p>注意事項 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜に該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格2】に該当する者は出願できます。</p>	出題言語: 日本語		受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 物理		<input type="checkbox"/> 選択 化学又は生物から1科目
出題言語: 日本語							
受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 物理						
	<input type="checkbox"/> 選択 化学又は生物から1科目						
選抜方法	<p>入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL iBT、TOEIC L&R又は IELTS(Academic Module) の成績証明書、ビデオレター(日本語)の内容、インターネット面接等を総合的に評価して行う。</p> <p>インターネット面接では、現地インターネット環境等により本人確認が困難で改善の余地がない場合、面接を無効とすることがあります。</p> <p>インターネット面接はインターネットの Google Hangouts や Skype 等のサービスを利用して行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できる必要があります。インターネット面接は 30 分以内で日本語により行います。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>						
出願期間	令和2年(2020年)11月 5日(木)~令和2年(2020年)11月11日(水)【郵送、必着】						
選抜期日	令和2年(2020年)12月14日(月)~令和2年(2020年)12月25日(金)						
合格者発表日	令和3年(2021年) 1月15日(金)						
その他	<p>・令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。</p> <p>そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後に新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト(https://www.ynu.ac.jp/)にてお知らせします。</p> <p>最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトです必ず確認をしてください。</p> <p>・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。</p>						

実施学部 学科名等	都市科学部 環境リスク共生学科
募集人員	環境リスク共生学科で行うYGEP-N1(渡日入試)、YGEP-N1(渡日前入試)と合わせて 6名
出願要件	<p>日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年(2021年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 次の資格のいずれかを授与された者 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスド・レベル資格(GCEALレベル資格)[3科目以上合格(評価E以上)していること] 3. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び令和3年(2021年)3月31日までに修了する見込みの者 <p>※外国において学校教育における12年の課程とは、地理的場所に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。</p> <p>【要件】 次の1～4を全て満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する若しくは取得できる者 2. 令和2年(2020年)11月実施の日本留学試験を日本国外で受験し、かつ以下の要件を満たしている者 出題言語: 日本語 受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科 <input checked="" type="checkbox"/> 物理、化学、生物から2科目 3. 平成30年(2018年)11月以降に実施された①～③のいずれかの成績証明書を提出できる者 ① TOEFL iBT (Special Home Edition を含みます Test Date スコアを採用します。) ② TOEIC L&R、③ IELTS(Academic Module) 4. 日本国外に在住している者 <p>注意事項 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜に該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格2】に該当する者は出願できます。</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL iBT、TOEIC L&R又はIELTS(Academic Module)の成績証明書、ビデオレター(日本語)の内容、インターネット面接等を総合的に評価して行う。</p> <p>インターネット面接では、現地インターネット環境等により本人確認が困難で改善の余地がない場合、面接を無効とすることがあります。</p> <p>インターネット面接はインターネットのGoogle Hangouts や Skype 等のサービスを利用して行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できる必要があります。インターネット面接は30分以内で日本語により行います。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>
出願期間	令和2年(2020年)11月 5日(木)～令和2年(2020年)11月11日(水) 【郵送、必着】
選抜期日	令和2年(2020年)12月14日(月)～令和2年(2020年)12月25日(金)
合格者発表日	令和3年(2021年) 1月15日(金)
その他	<p>・令和3年度(2021年度)の入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる対応として、試験日程や選抜方法を変更する可能性があります。</p> <p>そのため、この入学者選抜要項と各入試の学生募集要項では記載内容が異なる場合があります。また、学生募集要項を公表した後新たな措置を講じる必要が生じた際には、横浜国立大学のウェブサイト(https://www.ynu.ac.jp/)にてお知らせします。</p> <p>最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトですべて確認をしてください。</p> <p>・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、82ページを参照してください。</p>

4. YCCS特別プログラム入試(令和3年(2021年)10月入学)

英語による授業のみを履修して学士の学位を取得できる4年間のプログラムです。

※灰色に網掛けした箇所は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の特例です。

実施学部 学科名等	YOKOHAMA クリエイティブ・シティ・スタディーズ特別プログラム (全学部共同運営・都市科学部都市社会共生学科)
アドミッション ポリシー	YOKOHAMA クリエイティブ・シティ・スタディーズ特別プログラムは、英語による教育で学位が取得できる教育プログラムです。本プログラムでは、一定以上英語能力があり、ダイバーシティの高い新しい「都市学」を切り開くパイオニア精神に溢れる者を、世界中の国・地域から広く募集します。学生は、様々なバックグラウンドを持つ留学生・日本人学生からなる多文化的集団の中で、異文化理解能力とコミュニケーション能力を涵養し、実践的なICTスキルズやプレゼンテーションスキルズを得るとともに、「都市文化共創 Urban Cultural Creation」「都市社会マネジメント Urban Social Management」「都市創成技術 Urban Creative Technologies」3つの重点領域から専門性を身につけ、世界をフィールドとして活躍できる先駆的若手リーダーやファシリテーターとなることが期待されます。
募集人員	12名
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1から3のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年(2021年)9月30日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 国際バカロレア資格、アビトゥア資格(ドイツ)、バカロレア資格(フランス)、GCE A レベル資格(英国)[3科目以上合格(評価E以上)していること]のいずれかを有する者又は令和3年(2021年)9月30日までにいずれかを有する見込みの者 3. 文部科学省が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は令和3年(2021年)9月30日までに修了する見込みの者 <p>【要件】 次の1から3のすべてに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ①～⑤のいずれかの証明書を提出できる者 <ol style="list-style-type: none"> ①TOEFL iBT(Special Home Edition を含む) 80 以上 (Test Date スコアのみ。MyBest スコアは活用しない。) ②IELTS(Academic Module)オーバーオール・バンド・スコア:6.0 以上 ③国際バカロレア(English A の場合、HL:3 又は SL:4 以上、English B 場合、HL:4 又は SL:5 以上) ④英語による教育課程に修了年次を含め連続して4年以上又は通算6年以上在籍したこと ⑤上記と同等以上の英語能力を有することを証明する書類 2. 中等教育を修了するまでに7年以上外国の教育制度に基づいて日本国外で教育を受けた者(日本国内のインターナショナルスクール等での教育期間は含まない。) 3. 出入国管理及び難民認定法の適用を受ける者は、大学入学に支障のない在留資格を有すること <p>注「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクール等の出身者(【基礎資格】2または3を満たす者は除く)については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会してください。</p> <p>外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、入学願書、高校等の成績証明書(国家試験等の統一試験を含む)、英語能力を有することを証明する成績証明書、ビデオレター及び推薦書の内容等を総合的に評価して行います。また、学力確認のために追加の課題あるいは面接を課す場合があります。</p> <p>面接は、インターネットの Google Hangouts や、Skype 等のサービスを利用して行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できるようにしてください。面接時間は接続確認等の時間を除いて 30 分程度で、英語により行います。</p>
出願期間	令和2年(2020年)12月上旬～令和3年(2021年)1月下旬【インターネットによる出願】
選抜期日	令和3年(2021年)2月中旬～3月中旬
合格者発表日	令和3年(2021年)3月下旬
その他	<p>試験日程や選抜方法は変更となる可能性があります。最新の情報は、学生募集要項(令和2年(2020年)11月初旬頃公開予定)およびYCCSプログラムのウェブサイトです。必ず確認をしてください。</p> <p>問い合わせ等連絡先 横浜国立大学「YCCS 特別プログラム」入試担当係 E-mail : yccs-admission@ynu.ac.jp Website : http://www.yccs.ynu.ac.jp</p>

VI 学生募集要項(願書)の配布および問い合わせ先

1. 一般選抜の学生募集要項

(1) 配布予定時期

1 1月中旬

※一般選抜はウェブ出願を採用していません。出願するためには、下記(2)により学生募集要項(願書)を取得する必要があります。出願期間に間に合うように請求してください。

(2) 取得方法


①本学ウェブサイトでの請求

本学ウェブサイトを通じて、テレメールによる資料請求を行うことができます。

<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/data/index.html>

②テレメール(インターネット、自動音声応答電話)による請求

◇インターネットで請求する場合

https://telemail.jp	資料請求用QRコード：	
---	-------------	---

◇自動音声応答電話で請求する場合

自動音声応答電話	I P 電話 050-8601-0101 (24時間受付)
	※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 ※住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話ください。登録された音声不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

ご希望の資料の資料請求番号(6桁)を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)
一般選抜学生募集要項	5 8 2 6 5 2	2 1 5 円
一般選抜学生募集要項及び大学案内	5 4 2 6 5 2	2 5 0 円

※ 資料は通常、発送日のおおむね3~5日後にお届けできます(日曜・祝日の配達はありません)。お届け先地域や郵便事情によってはお届けに1週間ほど要する場合があります。随時発送の資料が1週間以上(予約受付の資料は発送開始日から1週間以上)経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。

※ 資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。

※料金のお支払い方法は「コンビニ支払い」「LINE Pay 請求書支払い」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用になれます。なお、支払い時に手数料として、コンビニ払いとLINE Pay 請求書支払いは88円、ケータイ払いとクレジットカード払いは50円が別途必要です。ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1回分の手数料で、複数資料の料金を同時に支払うこともできます。ゆうちょ銀行・郵便局での通常払込み(ATM・窓口)もご利用になれます。

※ テレメールによる請求方法等の問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター TEL. 050-8601-0102 (9:30~18:00)

③大学での配布

配布場所	配布日時
正門守衛所	9:00~21:00(土・日曜日、祝日を含む)

※学務部入試課窓口(次ページ参照)でも配布しますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として、キャンパスへの入構を制限(窓口を閉鎖)することがあります。最新の情報を、本学ウェブサイトで確認してください。

2. 特別選抜の学生募集要項

(1) 公表予定時期

学部	総合型 選抜	学校推薦型 選抜	帰国生徒 選 抜	外国学校 出身者選抜	社 会 人 選 抜	YGEP-N1 (渡日入試)	YGEP-N1 (渡日前入試)	YGEP-N2 (渡日前入試)	YCCS特別 プログラム
教育学部	7月下旬	9月上旬	9月上旬	—	—	—	—	—	—
経済学部	8月上旬	—	—	7月上旬	—	10月中旬	—	—	—
経営学部	8月上旬	9月上旬	9月上旬	—	9月上旬	11月下旬	—	—	—
理工学部	8月上旬	11月下旬	—	—	—	11月下旬	8月上旬	—	—
都市科学部	7月下旬	—	7月下旬	—	—	8月上旬	8月上旬	8月上旬	10月中旬

(2) 取得方法

特別選抜の学生募集要項（出願書類を含む）は、本学ウェブサイトに掲載します。以下のURLから志願者各自がダウンロードおよび印刷をして使用してください。学生募集要項の冊子は発行されないため、資料請求はできません。

<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/essential/index.html>

（トップページ>入試情報>学部入試>資料請求・ダウンロード>4. 本学ウェブサイトからダウンロード）

3. 学部等所在地及び問い合わせ先

(1) 入試全般

学部	担当	電話番号・メールアドレス	住所
学務部	入試課	045-339-3121, 3123 nyushi1@ynu.ac.jp	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8

(2) 各学部の特別選抜

学部	担当	電話番号・メールアドレス	住所
教育学部	教育学系入試係	045-339-3261 edu.nyushi@ynu.ac.jp	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2
経済学部	社会科学系経済学務係	045-339-3508, 3509 int.keizai@ynu.ac.jp	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3
経営学部	社会科学系経営学務係	045-339-3663, 3664 int.keiei@ynu.ac.jp	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4
理工学部	理工学部入試係	045-339-3821 ses.nyushi@ynu.ac.jp	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5
都市科学部	都市科学部学務係	045-339-3124, 4463 cus.jimu@ynu.ac.jp	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-6

※窓口取扱時間は、8:30～12:45及び13:45～17:00です。

※日本国外から電話で問い合わせる場合は、「045-339」を「+81-45-339」に代えてください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として、キャンパスへの入構を制限（窓口を閉鎖）することがあります。最新の情報を、本学ウェブサイトで確認してください。

Ⅶ 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談

1. 一般選抜

- 一般選抜は前期日程・後期日程とも本学試験場での個別学力検査等を実施しませんが、教育学部では個別学力検査等として所定の提出物を提出する必要があります。教育学部の入学志願者のうち、受験上の配慮を必要とする者は、下記の要領で申請書を提出してください。
- 修学上の配慮については、随時相談を受け付けていますが、申請時期が遅くなると実際の支援開始も遅くなることが想定されますので、入学を志願する学部にかかわらず、配慮を必要とする者はなるべく下記の提出期限までに申請書を提出してください。

心身の障がい等（視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱、発達障がい、その他）により受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、次の(1)～(4)の内容を確認したうえで、下記の様式例を参考にして事前相談申請書を作成し、学務部入試課へ提出してください。

- (1)原則として令和3年（2021年）2月5日（金）までに申し出てください。事前相談をしても、本学への出願が義務づけられるわけではありません。
- (2)本学で相談内容を審査したうえで、下記の日程を目安に、配慮事項の審査結果を郵送で通知します。

本学への事前相談申請書の到着時期	本学からの審査結果の発送時期
令和2年（2020年）11月30日（月）まで	令和2年（2020年）12月下旬
令和3年（2021年）1月4日（月）まで	令和3年（2021年）1月下旬
令和3年（2021年）2月5日（金）まで	令和3年（2021年）2月下旬

- (3)上記(1)の期限後でも相談を受け付けます。不慮の事故などにより配慮が必要となった場合は、速やかに申し出てください。
- (4)相談の内容や時期によっては、希望通りに配慮ができない場合があります。可能な限り早い時期に申し出てください。また、申請書の添付書類などに関して不明な点があれば、学務部入試課へ問い合わせてください。

（事前相談申請書様式例（A4判縦））

令和 年 月 日

横浜国立大学長 殿

フリガナ
氏 名
生年月日
住 所
電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

- 1. 志願する学部・学科・課程・コース・教育プログラム
- 2. 出願を予定している入試・日程（前期日程・後期日程）
- 3. 障がい等の種類・程度
- 4. 受験上の配慮を希望する事項・内容
- 5. 修学上の配慮を希望する事項・内容
- 6. 出身学校在学中にとられていた配慮事項・内容 ※期末試験等についても記入
- 7. その他

（添付書類）医師の診断書（原本または写）
大学入学共通テスト受験上の配慮事項審査結果通知書（写） ※該当者のみ
その他参考資料

2. 各学部の特別選抜

事前相談の要領は上記1.に準じますが、詳細は各入試の学生募集要項を確認してください。

VIII 過去の入試データ

過去3年分の入試データは、下記のウェブサイトに掲載しています（毎年4月中旬に更新）。

<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/enforce/index.html>

(掲載データ)

一般入試（現・一般選抜）	基本情報※、追加合格者数、最高点、最低点、平均点
AO入試（現・総合型選抜）	基本情報※、選考段階別受験者数、選考段階別合格者数
推薦入試（現・学校推薦型選抜）	基本情報※
帰国生徒等入試（現・帰国生徒選抜）	基本情報※
社会人入試（現・社会人選抜）	基本情報※
YGEP-N1（渡日入試）	基本情報※、選考段階別合格者数
YGEP-N1（渡日前入試）	基本情報※
YGEP-N2（渡日前入試）	基本情報※
YCCS特別プログラム入試	基本情報※（10月入学のプログラムであるため、10月上旬に更新）
編入学試験	志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、倍率

※基本情報：志願者数（男女別）、受験者数（男女別）、合格者数（男女別）、入学者数（男女別）、倍率

キャンパス案内図



※大学構内のバス停は、平日のみ利用可能です。
 ※構内の見学について
 構内は9時～17時までの間に見学できますが、講義棟、研究棟内には入れません。
 また、下記期間は見学できません。

大学入学共通テスト試験日(令和3年1月16日～17日)
 (令和3年1月30日～31日)
 個別学力検査等試験日(前期日程:令和3年2月25日)
 個別学力検査等試験日(後期日程:令和3年3月12日)
 (注)一般選抜前期日程及び後期日程は本学試験場での試験は実施しませんが、構内の見学はできません。

その他の期間でも、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として、キャンパスへの入構を制限することがあります。
 最新の情報を、本学ウェブサイトで確認してください。

【大学構内のバス停について】
 路線バスは、以下の1～7の順序で停車します。(※平日のみの運行)

横浜国立大学正門前
 1 ↓
 国大中央 →→ 大学会館前
 2 ↓ ↑ 5 6 ↓ 7
 国大北 国大南門
 3 ↓ ↑ 4
 国大西 [折り返し]

交通案内図

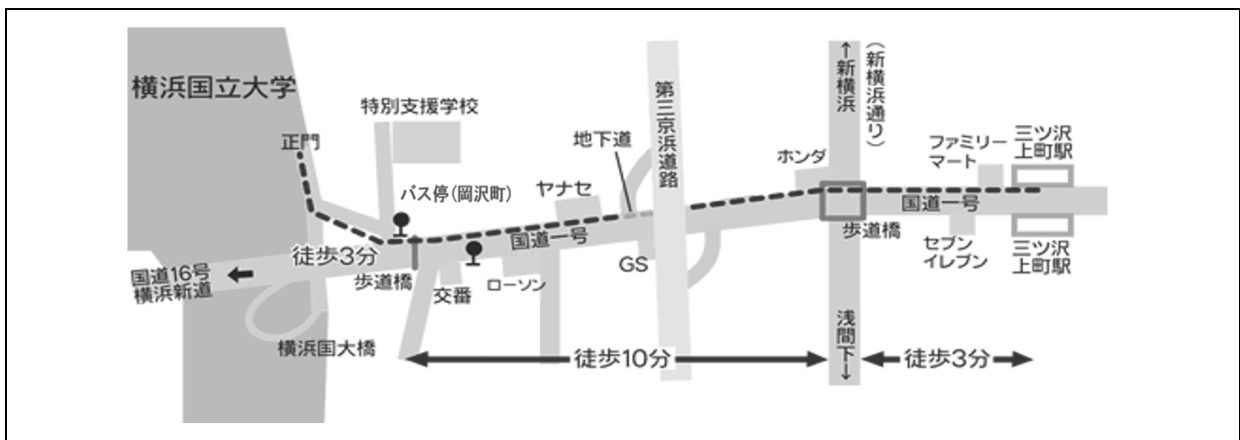
※本学までの経路の詳細は、本学ウェブサイトの「アクセス案内」を参照してください。

<https://www.ynu.ac.jp/access/index.html>

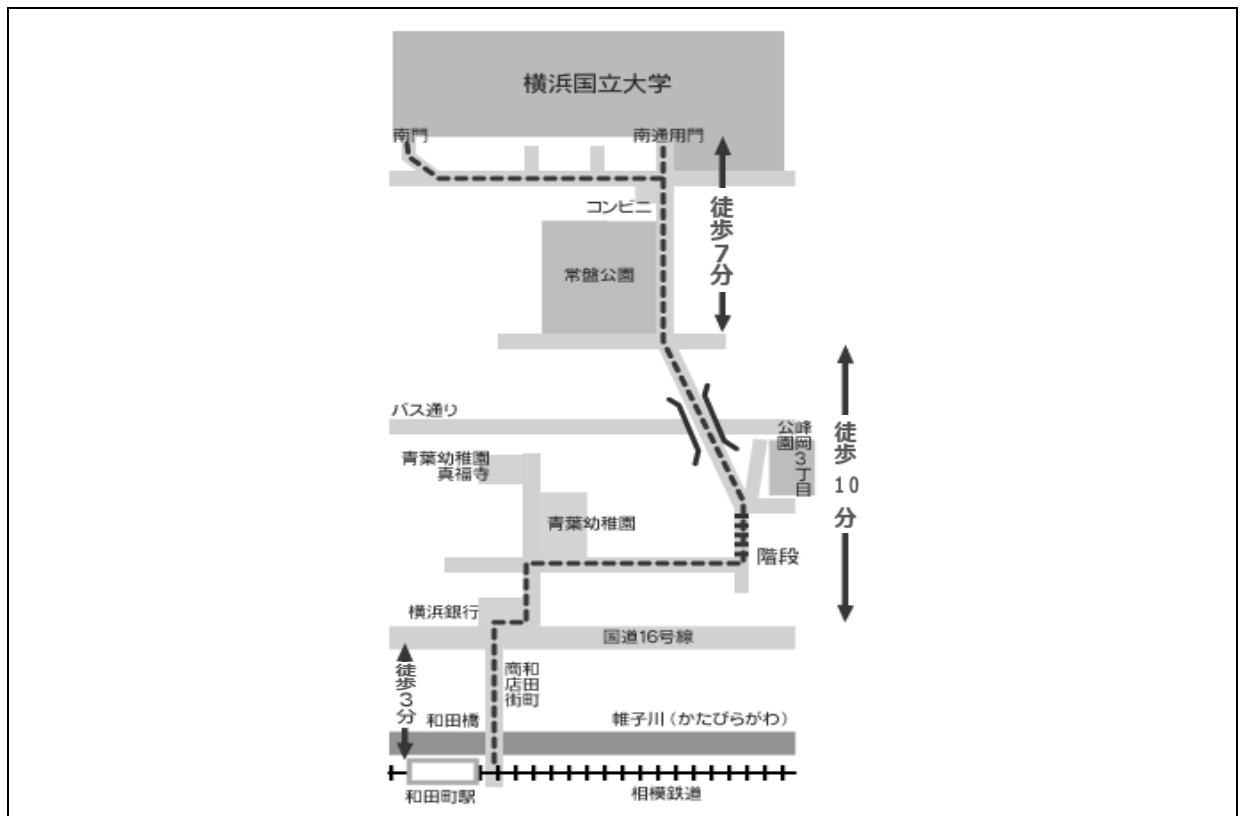
※下記③の経路には、歩道が非常に狭い箇所がありますので、通行には十分注意してください。

※バスは、運行本数や乗車人員に限りがあるほか、渋滞や悪天候の影響を受けやすく、予測した時間どおりに本学へ到着できないことがあるため、試験当日はバスの利用を推奨していません。

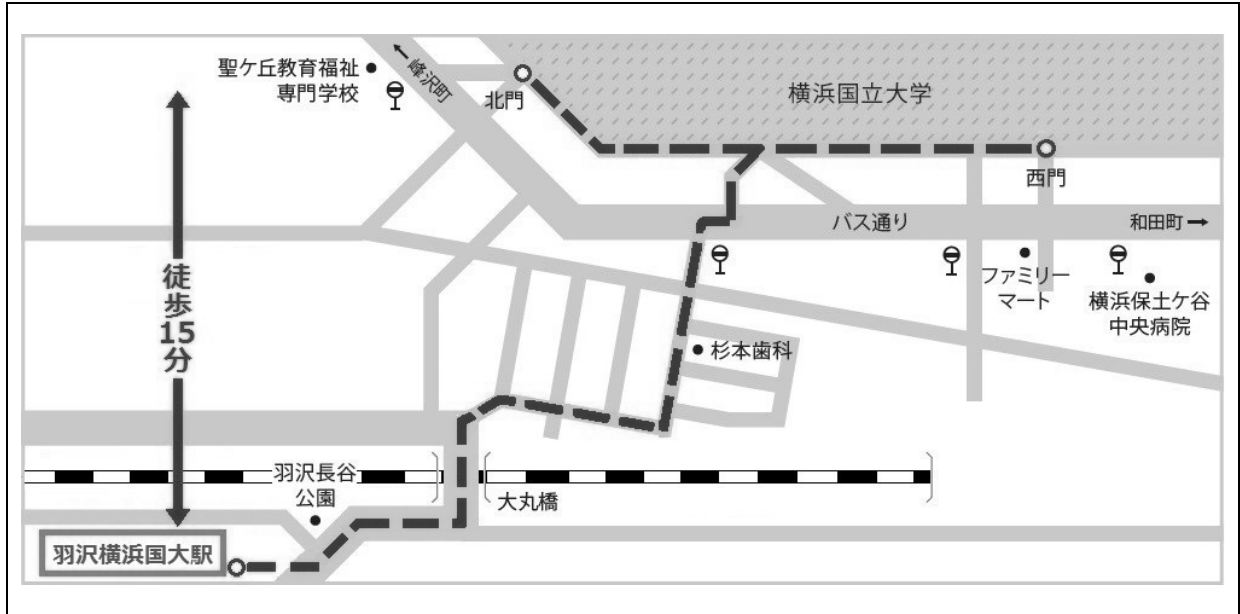
① 横浜市営地下鉄線 【三ツ沢上町駅】（改札を出て右側2番出口）から正門へ



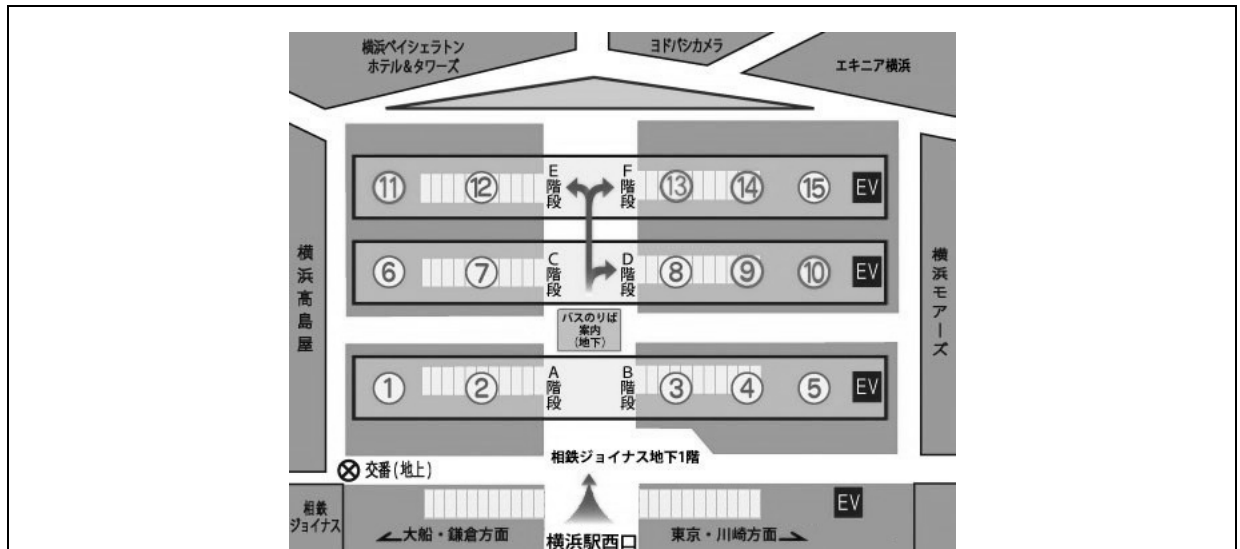
② 相模鉄道線 【和田町駅】から南門または南通用門へ



③ 相模鉄道線 【羽沢横浜国大駅】から西門または北門へ



④ バス 【横浜駅西口】から正門または大学構内（平日のみ）バス停留所へ



バス会社	乗り場	行き先	【下車停留所】
横浜市営バス	11 番	202 系統「(和田町経由) 横浜駅西口行」 208 系統「(市民病院経由) 横浜駅西口行」	岡沢町
	14 番	循環内回り 201 系統「横浜駅西口行」	岡沢町または大学構内(注 1)
	14 番	急行 329 系統「横浜駅西口行」	岡沢町または大学構内(注 1)
相鉄バス	10 番	浜 10 系統「横浜駅西口行」	岡沢町または大学構内(注 1)
	10 番	浜 5 系統「交通裁判所経由横浜駅西口行」	岡沢町
神奈中バス	13 番	01 系統「中山駅行」	岡沢町

注 1 大学構内のバス停留所（横浜国立大学正門前、国大中央、国大北、国大西、大学会館前、国大南門）は、平日のみ利用可能です。

注 2 上記のバス案内には、運行本数が少ない路線や土曜休日は運行しない路線も含まれます。
バスの発車時刻等は、各バス会社のウェブサイト等で確認してください。



◎ 入試情報

横浜国立大学 ウェブサイト <https://www.ynu.ac.jp/>

◎ 本要項についての問い合わせ先

学務部入試課 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-8
TEL : 045-339-3121 E-mail : nyushi1@ynu.ac.jp

教育学部 (教育学系入試係)	TEL 045-339-3261
経済学部 (社会科学系経済学務係)	TEL 045-339-3508、3509
経営学部 (社会科学系経営学務係)	TEL 045-339-3663、3664
理工学部 (理工学部入試係)	TEL 045-339-3821
都市科学部 (都市科学部学務係)	TEL 045-339-3124、4463

*** 問い合わせは、志願者本人が行うこと。**



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。